

2023年3月期 第3四半期 決算報告

2023年2月14日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

- 第一生命ホールディングス財務企画ユニット長の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2023年3月期第3四半期決算報告の電話会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 私から資料に沿って概要をご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- 2ページをご覧ください。

目次

- 本日のポイント P.2
- グループ各社の業績概要 P.9
- グループEEV P.18
- 参考データ P.21

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2022/12末	132.70円	141.47円	89.57円
2022/9末	144.81円	142.32円	94.17円
2022/3末	122.39円	136.70円	92.00円
2021/12末	115.02円	130.51円	83.42円
2021/9末	111.92円	129.86円	80.46円

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内生命保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	
DFL	第一フロンティア生命		100%	4-3月
NFL	ネオファースト生命		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクトティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
PNZ	パートナーズ・ライフ	[ニュージーランド] Partners Group Holdings	100%	
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	1-12月
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	1-12月
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	
その他事業(アセットマネジメント事業)				
AMOne	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月

連結業績

国内の新型コロナ感染拡大や海外金利上昇の影響等で減益も、全体では利益予想に対して概ね想定内

利益	グループ修正利益	1,564億円
	連結純利益	1,444億円
新契約	グループ新契約ANP	3,000億円
	国内新契約価値(概算)	約390億円

- ▶ 前年同期比△33%
DLは入院給付金支払やヘッジコストの増加を新規出再費用の減少等が相殺したが、海外金利上昇等に伴う、米PLCの営業外損益の大幅な悪化やDFLの標準責任準備金増し等により減益
通期利益予想に対する進捗率65%は、全体では概ね想定に沿った進展
- ▶ 同△51%
グループ修正利益の減益に加え、DFLにおける前年同期の大きなMVA関連益からの反動減が影響
- ▶ 同+23% ※為替影響除く
国内：DL・NFLが2Qに続き弱含みで推移した一方、DFLは好調な販売を維持し、全体で+33%
海外：DLVNのオルタナティブチャネルによる販売拡大が寄与したこと等により、全体で+4%
- ▶ 同△51% (進捗率：51%)
うちDLは約120億円と、自社商品の販売の低迷が影響 (前年同期比△78%、進捗率：約30%)

EEV・ESR (概算)

EEVは国内金利上昇・円安のプラスを海外金利上昇・株安が相殺、ESRはリスク削減効果等で横ばい

資本	グループEEV	約7兆2,200億円
健全性	資本充足率(ESR)	約227%

- ▶ 前期末比+1%
うちDLは国内金利上昇のプラスを海外金利上昇・株安等が相殺し前期末比△4%
- ▶ 同+0%pt
金融市場が大きく変動する中、市場関連リスク削減効果等の寄与もありほぼ横ばい

トピック

パートナーズ・ライフ社とアイベットホールディングスの連結子会社化を完了、来期より通期で利益貢献

- ▶ ニュージーランド生保パートナーズ・ライフ社買収のクロージングを11月末に完了し、本3Q末を起点として連結子会社化
- ▶ 公開買付け(TOB)によりアイベットホールディングスの株式99.23%を取得 (2023年1月17日)

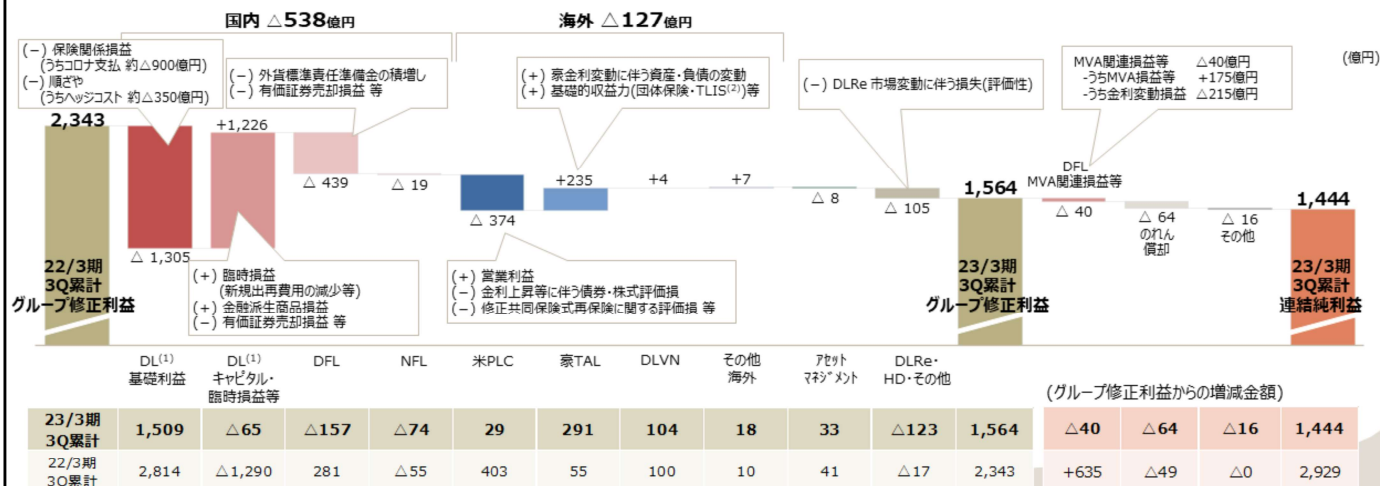
- 本日のポイントを3点にまとめました。
- まず、連結業績です。利益面は引き続き、国内の新型コロナ感染拡大や海外金利上昇の影響等により、前年同期から減益となりました。
- 第一生命は、新型コロナに関連した入院給付金等の支払いや為替ヘッジ付外債に対するヘッジコストの増加等の減益要因を、新規再保険費用の減少やキャピタル損益の改善等で概ね相殺しましたが、米国プロテクティブの営業外損益の大幅な悪化や、第一フロンティア生命における外貨標準責任準備金の増しの増加等により、グループ修正利益全体では減益となりました。
- グループ修正利益の進捗率は65%となりましたが、第3四半期(10-12月)は、第一生命における新型コロナ関連の支払いが相対的に大きいこと等が影響しています。グループ全体では、通期利益予想に対して概ね想定内の推移と考えています。
- 新契約業績についてです。第一生命・ネオファースト生命の営業業績は、第2四半期に引き続き、弱含みで推移しました。第一フロンティア生命の販売は好調を維持し、国内全体の年換算保険料は前年同期から増加しました。海外では、主に第一生命ベトナムが堅調に推移しました。
- 新契約価値は、国内のみ概算を開示しています。主に第一生命において、自社商品の販売が引き続き低調に推移したこと等から、国内全体の進捗率は51%に留まりました。
- グループEEVは、国内金利上昇や円安によるプラス効果を、大幅な海外金利上昇や株式市場の下落によるマイナス効果等が相殺し、前期末からほぼ横ばいとなりました。資本充足率(ESR)も、前期末からほぼ横ばいとなっています。
- 最後に今期実施した買収についてです。ニュージーランドのパートナーズ・ライフ社に対し、買収手続きを11月末に完了しました。会計上は、本第3四半期末を起点として連結子会社化しています。また、ペット保険のアイベットホールディングスについては、TOBで99.23%の株式を取得し、現在、完全子会社化に向けた手続きを実施中です。両社ともに、第4四半期より利益が連結上取り込まれ、来期より通期貢献する見込みです。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – 利益：グループ修正利益・連結純利益

- ▶ DLの修正利益は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入院給付金の支払増加による保険関係損益の悪化やヘッジコスト増加による順ざやの減少等を、臨時損益や金融派生商品損益の改善等が相殺し、前年同期比ほぼ横ばいを確保。DFLの販売拡大に伴う外貨標準責任準備金の積み増しや、金利上昇に伴う米PLCにおける営業外損失(評価性)の発生等により、グループ修正利益は前年同期比△33%減少の1,564億円
- ▶ 連結純利益は、金利変動損益(時価評価資産(債券)の評価損益)の悪化も影響し、DFLのMVA関連損益の大幅な反動減により減益(前年同期比△51%)

グループ修正利益・前年同期比変動要因

グループ修正利益・連結純利益の差異

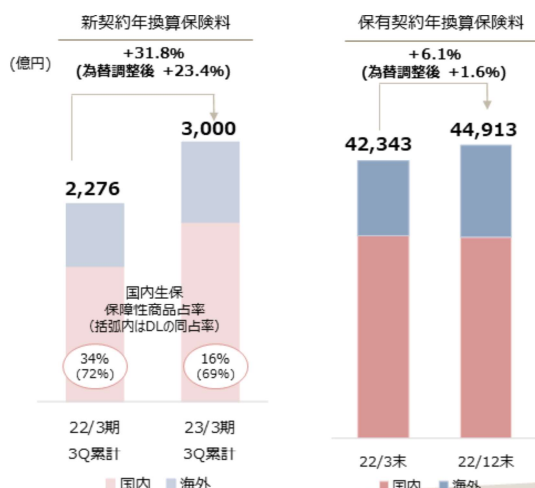


- 利益面について説明します。
- 第一生命は、新型コロナに関連した入院給付金等やヘッジコストの増加等により基礎利益が減少しましたが、キャピタル・臨時損益等の改善により概ね相殺しました。キャピタル損益では、主に国内金利上昇に対するポジションから金融派生商品損益が大幅に改善しました。
- 第一フロンティア生命では、新契約が好調に推移したことに伴う外貨標準責任準備金の積み増し負担の増加等が影響しました。外貨標準責任準備金の積み増しは、新規契約に対する付与利率が標準利率よりも高いことで発生します。急速に金利が上昇する局面では、付与利率が標準利率を上回る状態が発生し、準備金の追加繰入れ負担が発生します。これは積立ての前倒しであり、契約期間を通じた損益に影響はありません。
- 米プロテクトでは、新型コロナに関連した保険金等の発生が期初想定を下回り、営業損益は大きく改善したものの、営業外損益における金利上昇や株式市場の下落に伴う評価性損失が大きく影響しました。
- 豪TALは、基礎的収益力の改善に加え、前年同期に発生した豪金利のフラットニングを主因とする資産・負債の時価変動損失からの解消により、増益となりました。
- 最後に連結純利益は、前年同期比では主に第一フロンティア生命において、MVA関連損益の大幅な反動減により、減益となりました。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – 新契約：新契約・保有契約年換算保険料

- 国内新契約は、DFLが海外金利上昇で高まった外貨建商品の訴求力を背景に販売量を2Qに続き拡大し、全体で前年同期比+32%増加。DLは、DFL・NFLの商品を含めた自社チャネルの合計販売量は増加した一方、自社商品の販売は引き続き低調に推移し、NFLも他社における商品改定等の影響を受け、前年同期を下回る（なお、DFL・NFL商品の販売を含めたDLチャネル販売全体は、前年同期比+8%増加）
- 海外は、円安影響もあり+30%増加。DLVNのオルタナティブチャネル（銀行チャネル）の販売量が前年同期を大きく上回った結果、為替調整後も+4%増加

新契約・保有契約年換算保険料(ANP)の状況



(億円)	新契約年換算保険料			20/3期 同期比	保有契約年換算保険料		
	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年 同期比		22/3末	22/12末	前期末比
国内3社計	1,560	2,068	+32.6%	+24.8%	30,901	30,702	△0.6% (△1.5%)
DL	579	358	△38.3%	△45.9%	20,527	20,148	△1.8%
うち第三分野	379	231	△39.1%	△43.6%	7,088	7,055	△0.5%
DFL	872	1,623	+86.1%	+75.9%	8,983	9,266	+3.1% (+0.3%)
うちDLチャネル販売	164	450	+174.1%	+103.1%	1,390	1,288	△7.3%
NFL	107	86	△19.2%	+19.4%	-	-	-
うちDLチャネル販売	55	55	△0.3%	+147.3%	-	-	-
海外5社計	716	931	+30.1% (+3.5%)	△7.9% (△29.8%)	11,441	14,210	+24.2% (+10.0%)
PLC	424	545	+28.5% (△0.7%)	+103.9% (+52.0%)	5,979	7,464	+24.8% (△0.9%)
TAL	102	73	△28.5% (△33.4%)	△87.6% (△89.4%)	4,497	5,431	+20.8% (+24.0%)
DLVN	187	306	+63.4% (+31.3%)	+101.6% (+55.4%)	961	1,307	+35.9% (+11.4%)
DLKH/DLMM	1.0	5.6	+451.2% (+332.5%)	+2,893.4% (+2,394.9%)	2.9	7.8	+163.5% (+118.7%)
第一生命グループ計	2,276	3,000	+31.8% (+23.4%)	+12.4% (+4.1%)	42,343	44,913	+6.1% (+1.6%)

(1) パートナース・ライフ社を含めたグループ保有契約年換算保険料は、45,408億円(2022年12月末時点)

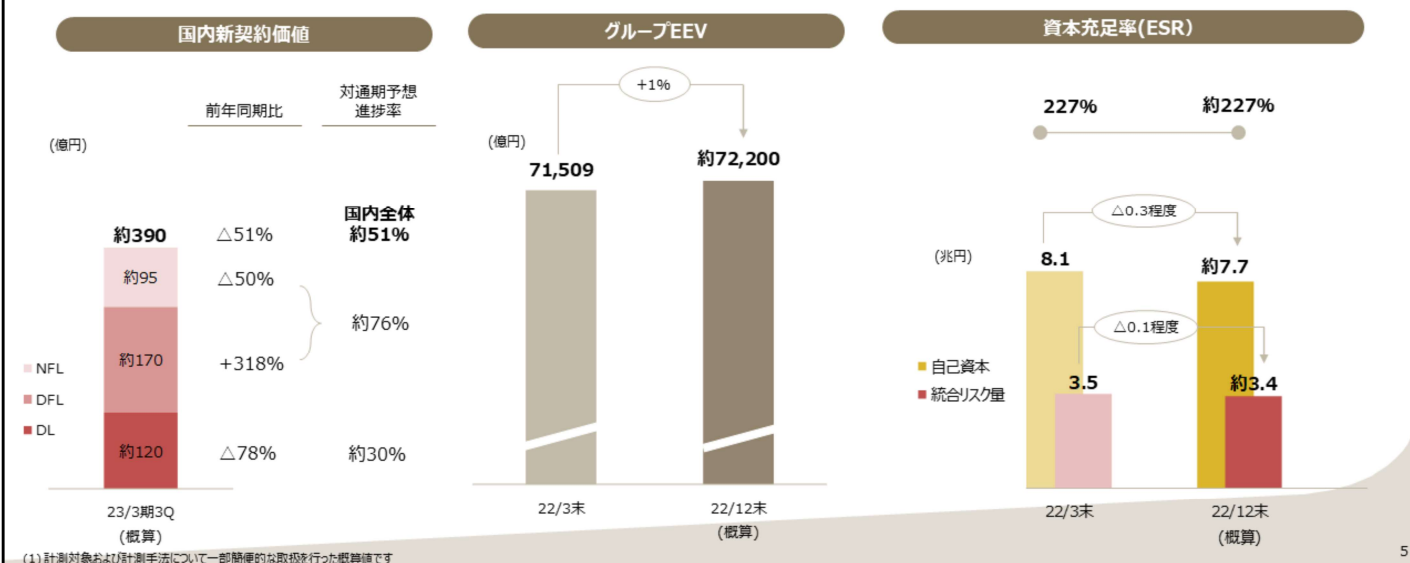
増減率の下段(△)は為替変動の影響を除く変化率

4

- 新契約業績について説明します。
- 国内新契約は、海外金利の上昇で外貨建商品の訴求力が高まった第一フロンティア生命が引き続き牽引し、前年同期を大幅に上回りました。第一生命とネオファースト生命の新契約は、第2四半期に続き、弱含みで推移しました。
- 第一生命では、第一フロンティア生命やネオファースト生命の商品を含めた第一生命チャネル全体での販売量では前年同期を上回りましたが、自社商品の販売が引き続き低位に留まりました。その背景には、第一生命チャネルの販売件数において、第一フロンティア生命商品の件数が前年同期から約3倍に増加し、件数全体の約2割を占めている状況もありますが、一方でこれまでの抜本的な営業改革の成果の創出に時間を要していることが要因です。
- 7月にスタートしたコンサルティング手法および商品体系の一体改革は、継続的な教育等により、1件あたりの保険料収入に緩やかながら上昇が見られています。また、生涯設計デザイナーの新規採用は、人財のレベルを維持しつつ、四半期サイクルでの採用規模に改善の兆しが見られます。
- 引き続き、コンサルティング手法の浸透や人財の採用拡大に取り組むとともに、来期に向けては、営業職員一人ひとりの営業目標についても、個人の目指すべき水準感をより明確化し、ボトムアップで設定した営業組織単位の目標のフォロー体制を改めて強化するなど、現場の声も踏まえて、営業行政面での改善を検討しています。
- 海外では第一生命ベトナムが銀行チャネルで販売量を大きく伸ばし、海外全体では、為替影響除きでも前年同期を上回る水準となりました。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント - 経済価値(概算値)⁽¹⁾：国内新契約価値・グループEEV・資本充足率(ESR)

- ▶ 国内新契約価値は、販売量が大幅に拡大したDFLが大きく増加したものの、DL・NFLの想定を下回る実績により全体で前年同期比△51%(進捗率約51%)
- ▶ グループEEVは、国内金利上昇・円安のプラス効果を、海外金利上昇や株式市場の下落等の影響が相殺し、前期末からほぼ横ばい
- ▶ 資本充足率(ESR)は、自己資本が僅かに減少した一方、国内金利上昇や市場関連リスク削減の取組み等によるリスク量の減少により、前期末からほぼ横ばい



- 経済価値指標についてです。
- 国内3社合計の新契約価値は約390億円となり、通期予想に対して約51%の進捗率となりました。
- 前ページの新契約業績の状況の通り、販売量が大きく伸びた第一フロンティア生命の新契約価値が増加した一方、第一生命とネオファースト生命が低調な結果となっています。
- 特に第一生命の進捗率が約3割に留まっています。期中では計測前提に一部簡便的な取扱いを行っていることもありますが、自社商品の販売が低位に推移する中で、営業関連費用の負担が相対的に大きくなっています。
- グループEEVは、国内金利上昇によるプラス効果を海外金利上昇や株式市場の下落等のマイナスが相殺し、第一生命のEEVが微減となりましたが、海外子会社のプラスの為替影響等により、全体では前期末からほぼ横ばいとなりました。
- 資本充足率(ESR)は、第一生命の劣後債務の減少等から自己資本が減少しましたが、前期末からほぼ横ばいの約227%となりました。
- 次のページをご覧ください。

グループ連結主要業績および2023年3月期業績予想

- ▶ 通期のグループ修正利益予想に対する進捗率65%は、全体では概ね想定に沿った進展であり、通期予想に変更はない
- ▶ グループ新契約価値は、DLにおける想定を下回る自社商品の販売状況を主因に、通期予想は未達となる可能性が高い

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年 同期比	(%)	対通期予想 進捗率	22/3期 通期実績	23/3期 通期予想	前期比	(%)
連結経常収益	56,737	78,442	+ 21,705	+ 38%	81%	82,097	96,500	+ 14,402	+ 18%
第一生命	31,695	30,748	△ 946	△ 3%	82%	44,508	37,310	△ 7,198	△ 16%
第一フロンティア生命	13,872	31,270	+ 17,397	+ 125%	86%	22,146	36,560	+ 14,413	+ 65%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	9,715	12,062	+ 2,347	+ 24%	82%	13,400	14,710	+ 1,309	+ 10%
東TAL (百万米ドル) ⁽¹⁾	4,875	6,233	+ 1,358	+ 28%	81%	6,404	7,680	+ 1,275	+ 20%
連結経常利益	4,674	2,993	△ 1,680	△ 36%	70%	5,908	4,300	△ 1,608	△ 27%
第一生命	2,927	2,920	△ 7	△ 0%	78%	3,789	3,730	△ 59	△ 2%
第一フロンティア生命	1,118	△ 226	△ 1,344	-	-	1,231	100	△ 1,131	△ 92%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	443	25	△ 418	△ 94%	20%	578	130	△ 448	△ 78%
東TAL (百万米ドル) ⁽¹⁾	89	422	+ 332	+ 369%	162%	163	260	+ 96	+ 59%
連結純利益⁽²⁾	2,929	1,444	△ 1,484	△ 51%	66%	4,093	2,190	△ 1,903	△ 47%
第一生命	1,523	1,444	△ 79	△ 5%	81%	1,997	1,790	△ 207	△ 10%
第一フロンティア生命	916	△ 198	△ 1,115	-	-	1,386	70	△ 1,316	△ 95%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	360	20	△ 340	△ 94%	20%	277	100	△ 177	△ 64%
東TAL (百万米ドル) ⁽¹⁾	61	315	+ 254	+ 417%	175%	126	180	+ 53	+ 43%
グループ修正利益	2,343	1,564	△ 778	△ 33%	65%	2,961	2,400程度	△ 561	△ 19%
グループ新契約価値⁽³⁾	-	-	-	-	-	1,266	1,350程度	+ 83	+ 7%
1株あたり配当金(円)						83	86	+ 3	+ 4%
(参考)基礎利益 ⁽⁴⁾	3,842	2,286	△ 1,555	△ 40%	62%	5,501	3,700程度	△ 1,801	△ 33%
第一生命	2,814	1,509	△ 1,304	△ 46%	63%	4,076	2,400程度	△ 1,676	△ 41%

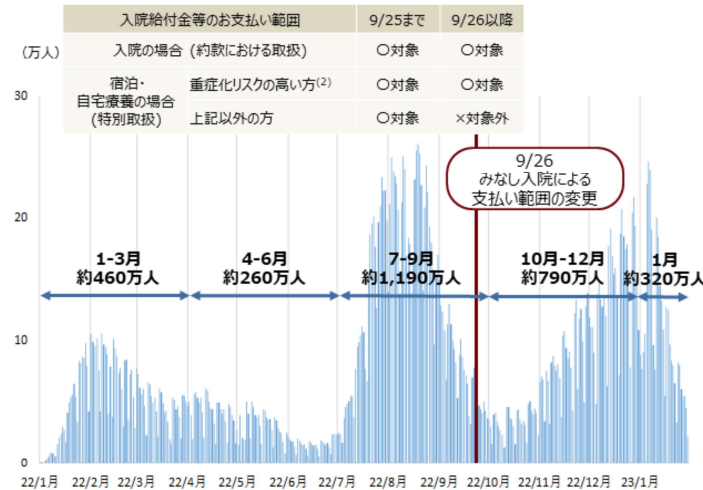
(1) 米PLCおよび東TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示 (2) 親会社株主に帰属する当期純利益
(3) グループ新契約価値実績は、2Q・4Qで開示 (4) 算定方法の改正を踏まえ、改正後基準を記載

- 続いて当期の業績予想に対する進捗状況です。
- 第2四半期において修正した通期予想からの変更はありません。グループ修正利益の進捗率は、全体として概ね想定に沿った推移となっています。
- グループ新契約価値は、第一生命における想定を下回る自社商品の販売状況を主因に、現時点において、通期予想は未達となる可能性が高いと考えています。
- 次のページをご覧ください。

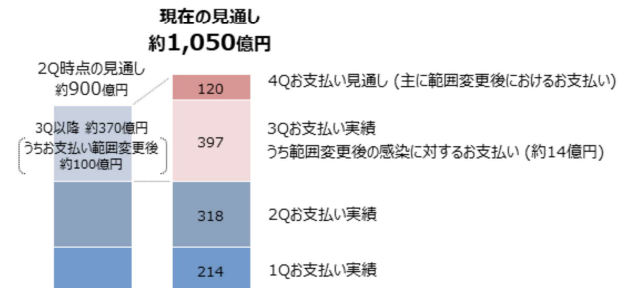
新型コロナ感染に対する入院給付金等のお支払い状況（第一生命）

- ▶ 昨年9月26日より、新型コロナ感染における「みなし入院」による入院給付金等の支払い範囲を変更し、以降の感染に対する支払額は減少
- ▶ 7-9月を中心とする急激な感染拡大に対する10月以降の支払額が想定を上回ったことを主因に、現時点での年間支払額は約1,050億円程度となる見通し

国内新規感染者数の推移⁽¹⁾



(DL)入院給付金等のお支払い実績・見通し



国内における新型コロナに関連したお支払いの状況⁽³⁾

		死亡保険金(給付金)		入院給付金等	
		件数	金額	件数	金額
第一生命	2022年	1,942件	約79億円	803,866件	約930億円
(参考)国内グループ会社	4月-12月	2,472件	約124億円	874,660件	約1,000億円

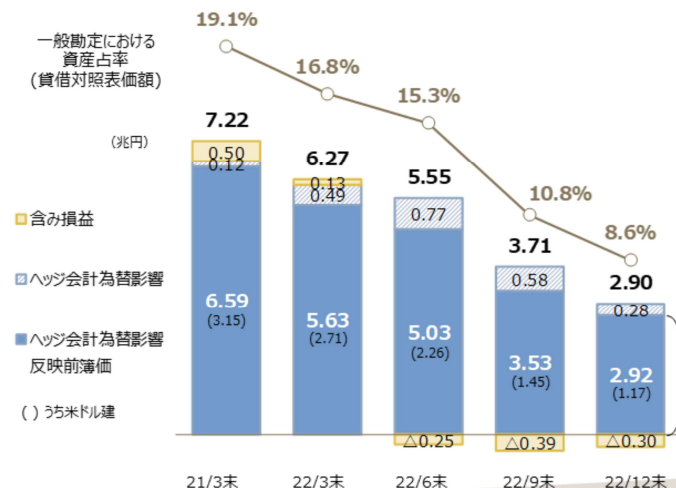
(1) 厚生労働省データより当社作成。9/26以降のお支払い対象外となる範囲を含む (2) 65歳以上の方、入院を要する方、重症化リスクがあり、かつ、新型コロナ治療薬の投与または新型コロナ罹患により治療投与が必要なる方、妊娠されている方
(3) 国内グループ3社(第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命)合計。2022年12月31日時点での判明分

- 新型コロナ感染に対する、第一生命における入院給付金等のお支払い状況です。
- 昨年9月26日に「みなし入院」に対する入院給付金等の支払い範囲を変更して以降、一般の新規感染者数に対するお支払い額は、変更前と比較して減少しています。
- しかしながら、第3四半期は、支払い範囲変更前の7月～9月の感染拡大期に感染したお客さまへの10月以降の入院給付金のお支払いが、想定を上回る状況となりました。また、11月～12月に新規感染者が再び大きく増加しています。この結果、年間のお支払額は、第2四半期時点での見通しであった約900億円を超過しており、現時点では約1,050億円を見込んでいます。
- 次のページをご覧ください。

第一生命の為替ヘッジ付外貨建債券運用の状況 (残高増減)

- ▶ 2022年12月末時点の為替ヘッジ付外債残高は3兆円を下回る水準に低下しており、今後も残高は削減方向とする方針
- ▶ 為替に係るヘッジコストは、海外短期金利が9月以降も上昇する中、大幅な残高削減により、2Q末時点の見通し(年間約900億円)から変更はない

為替ヘッジ付外債残高詳細(貸借対照表価額)⁽¹⁾



為替ヘッジ付外債 損益状況

	22/3期3Q累計	23/3期3Q累計	(参考) オープン外債 ⁽²⁾
為替ヘッジ付外債			
利息・配当金等収入	1,276	1,074	422
為替に係るヘッジコスト	△ 197	△ 509	-
有価証券売却損益	△ 519	△ 2,161	987
貸借対照表価額	69,732	29,057	11,909
会計上の簿価	64,032	32,091	12,177
含み損益	5,699	△ 3,034	△ 268
会計上の(参考)ヘッジ会計が為替影響反映前簿価	62,189	29,236	

(1) 通貨スワップを用いた為替ヘッジ付外債(フルヘッジ)の残高を含む(21/3末: 2,078億円、22/3末: 2,086億円、22/12末: 2,521億円) (2) 外国公社債投資信託を含む

8

- 最後に第一生命のヘッジ外債運用についてです。
- 第一生命では、リスク・リターンの観点からヘッジ外債の削減を継続しています。12月末時点のヘッジ外債残高は、3兆円を下回る水準となっていますが、海外の短期金利の上昇が続く中、今後も残高は削減方向で考えています。
- この結果、第一生命における為替ヘッジ付外債に対するヘッジコストは、残高削減の進展により、第2四半期末時点の約900億円の見通しから変更はありません。
- 私からの説明は以上です。

グループ各社の業績概要

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一生命

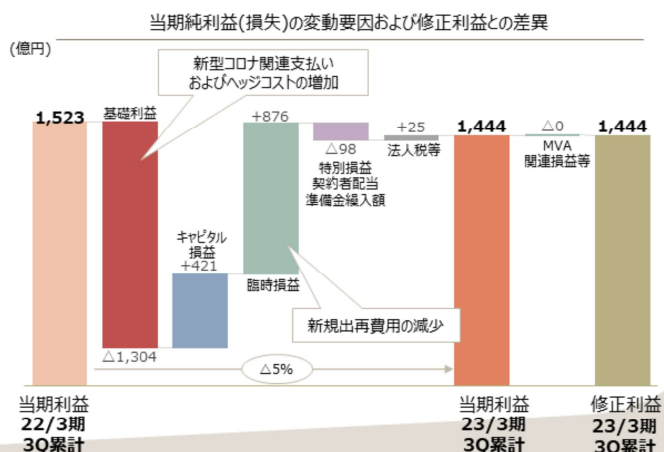


- ▶ 基礎利益は、新型コロナウイルス拡大に伴う入院給付金支払い増加等により保険関係損益が大きく悪化したことや、ヘッジコスト上昇に伴う順ざや減少の影響等により、前年同期比△46%減少の1,509億円
- ▶ 修正利益は、上記の減益要因を金融派生商品損益や臨時損益の改善が補い、前年同期比△5%減少の1,444億円

単体業績

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	16,652	17,236	+ 583	+ 4%
基礎利益⁽¹⁾	2,814	1,509	△ 1,304	△ 46%
順ざや	710	479	△ 230	△ 32%
うちヘッジコスト	△ 216	△ 564	△ 348	
保険関係損益	2,103	1,029	△ 1,074	△ 51%
キャピタル損益	1,456	1,877	+ 421	+ 29%
有価証券売却損益	1,323	1,038	△ 285	
投資解約損益	396	419	+ 23	
金融派生商品損益	△ 352	381	+ 734	
為替差損益 (除ヘッジコスト)	14	△ 23	△ 37	
有価証券評価損	△ 58	△ 52	+ 5	
臨時損益	△ 1,343	△ 467	+ 876	-
新規追加責任準備金繰入額	△ 544	△ 520	+ 23	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	-	-	-	
再保険関連収支	△ 798	49	+ 848	
経常利益(損失)	2,927	2,920	△ 7	△ 0%
特別損益	△ 200	△ 246	△ 45	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 135	△ 127	+ 7	
契約者配当準備金繰入額	△ 608	△ 661	△ 52	
法人税等合計	△ 594	△ 568	+ 25	
当期純利益(損失)	1,523	1,444	△ 79	△ 5%
(参考) 基礎利益における再保険取引の影響額 ⁽²⁾	約+110	約+175	約+65	

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	1,523	1,444	△ 79	△ 5%



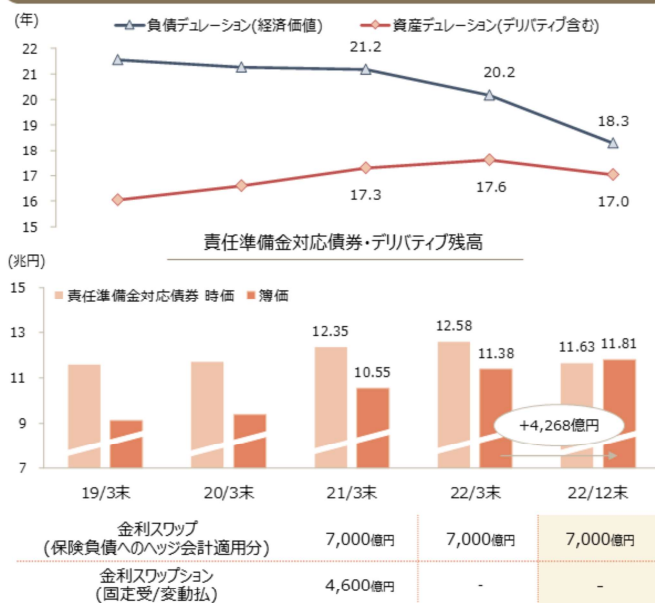
(1) 22/3期3Q・23/3期3Qともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載
(2) 再保険取引の影響額：19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険関係損益に与える影響額(概算)

[グループ各社の業績概要]

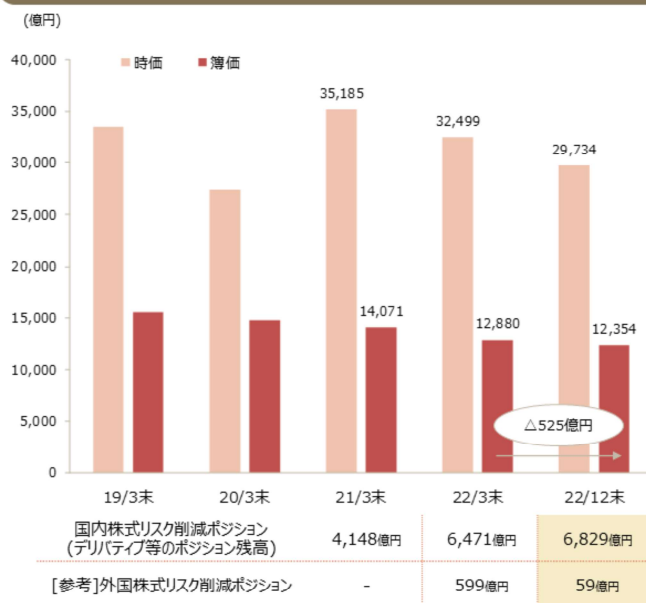
第一生命 - 市場関連リスク削減の取組状況



デュレーションと責任準備金対応債券の積増し状況⁽¹⁾



国内株式の簿価・時価⁽²⁾



(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建て定期付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高
責任準備金対応債券とは、保険会社向けに認められた区分で、一定の要件を満たせば簿価原価法による評価が認められているものを指します

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く) 22/12末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は746億円

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命



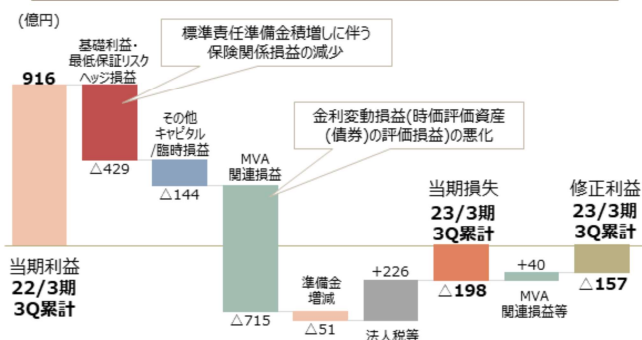
- ▶ 基礎利益は、順ざやが増加したものの販売増加に伴う標準責任準備金積増しによる保険関係損益の減少等により、△152億円(前年同期は302億円)
- ▶ 当期利益は、キャピタル損益やMVA関連損益に含まれる金利変動損益の悪化等により、△198億円(前年同期は916億円)
MVA関連損益等を除いた修正利益は、△157億円(前年同期は281億円)

単体業績⁽¹⁾

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	10,110	19,663	+ 9,552	+ 94%
基礎利益⁽²⁾	302	△ 152	△ 455	-
順ざや・保険関係損益等	326	△ 74	△ 401	
最低保証リスクに係る損益(責任準備金増減等)	△ 23	△ 77	△ 53	
キャピタル損益	819	△ 279	△ 1,098	
最低保証リスクヘッジ損益	△ 19	6	+ 25	
MVA関連損益	665	△ 50	△ 715	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)	172	△ 235	△ 408	
臨時損益	△ 4	205	+ 209	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 4	△ 58	△ 54	
MVA関連損益(再保険関連)	-	-	-	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	0	263	+ 263	
経常利益(損失)	1,118	△ 226	△ 1,344	-
特別損益	△ 43	△ 40	+ 3	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 43	△ 40	+ 3	
法人税等合計	△ 157	67	+ 225	
当期純利益(損失)	916	△ 198	△ 1,115	-
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益	283	△ 145	△ 429	
その他キャピタル・その他臨時損益	172	28	△ 144	
MVA関連損益	665	△ 50	△ 715	
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△ 205	△ 30	+ 174	

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	281	△ 157	△ 439	-

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 22/3期1Qより各損益の内訳の項目名を修正の上、従来の事業利益を損益、一時的な有価証券売却損益等のキャピタル損益やその他臨時損益の再保険関連収支を区分する開示方法に変更しています
(2) 22/3期3Q・23/3期3Qともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – ネオファースト生命



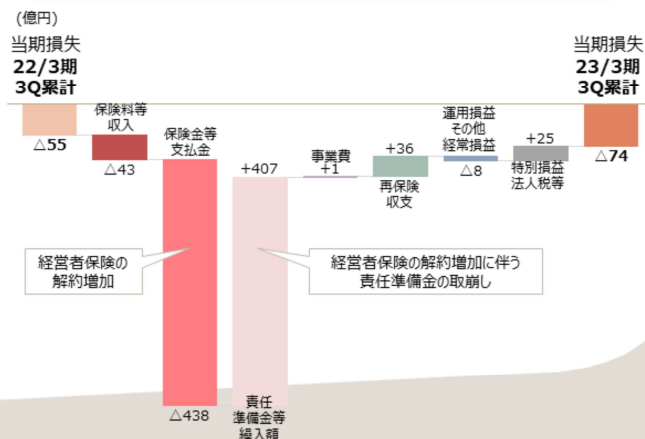
- ▶ 保険料等収入は、医療保険の保有契約が増加したものの、経営者保険の解約等により、前年同期比△4%減少
- ▶ 当期純損失は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う入院給付金支払いの増加等により、△74億円(前年同期は△55億円)

単体業績

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	997	953	△ 43	△ 4%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 310	△ 749	△ 438	
保険金・年金・給付金	△ 68	△ 167	△ 99	
解約返戻金・その他返戻金	△ 242	△ 582	△ 339	
責任準備金等繰入額	△ 470	△ 62	+ 407	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 1	△ 0	+ 0	
事業費	△ 248	△ 247	+ 1	
再保険収支	△ 14	22	+ 36	
資産運用損益・その他経常損益	△ 8	△ 16	△ 8	
資産運用損益	3	3	+ 0	
その他経常損益	△ 11	△ 20	△ 9	
経常利益(損失)	△ 54	△ 99	△ 45	-
特別損益	△ 0	△ 0	+ 0	
法人税等合計	△ 0	25	+ 25	
当期純利益(損失)	△ 55	△ 74	△ 19	-
基礎利益 ⁽¹⁾	△ 54	△ 99	△ 45	-

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	△ 55	△ 74	△ 19	-

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 22/3期3Q・23/3期3Qともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 米プロテクティブ

(22/12期4Q(10-12月)決算は、現地2/28頃の公表を予定)



- ▶ 営業利益は、リテール事業におけるコロナ関連の保険金支払の減少や、責任準備金計算に用いる金利前提等の定例見直し等が寄与し、前年同期比+58%増加の467百万米ドル
- ▶ 当期純利益は、主に金利を中心とした金融市場変動に伴う営業外損益の悪化(評価損等)から、前年同期比△94%減の20百万米ドル

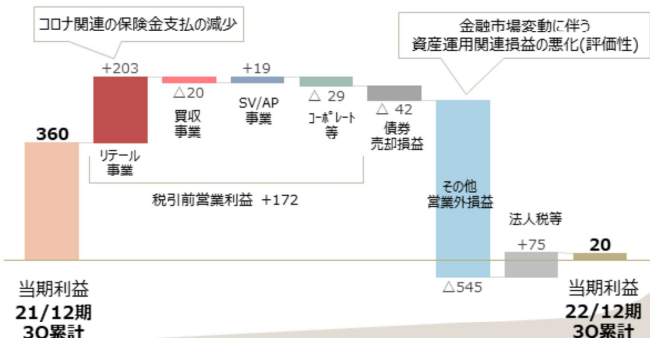
単体業績

(百万米ドル)	21/12期 3Q累計	22/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	4,728	4,684	△ 43	△ 1%
税引前営業利益⁽¹⁾	295	467	+ 172	+ 58%
リテール保険&年金	△ 66	136	+ 203	-
買収	255	234	△ 20	△ 8%
ステーブル/ビュー(SV)	128	139	+ 10	+ 8%
アセットプロテクション(AP)	29	38	+ 8	+ 28%
コーポレート等	△ 52	△ 82	△ 29	-
営業外損益(償却調整後)	145	△ 441	△ 587	
債券売却損益	44	2	△ 42	
債券評価損・株式評価損益等	5	△ 231	△ 237	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	128	△ 1	△ 129	
修正共同保険式再保険に関する損益	△ 16	△ 241	△ 224	
デリバティブ損益(変動/定額年金等)	64	279	+ 214	
市場変動に伴う変動商品のDAC償却等の変動	13	△ 101	△ 114	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	△ 94	△ 148	△ 53	
法人税等	△ 80	△ 5	+ 75	
当期純利益(損失)	360	20	△ 340	△ 94%
当期純利益 ※円換算後・億円	403	29	△ 374	△ 93%
決算為替レート(対円)	111.92	144.81	+ 32.89	+ 29%

(億円)	21/12期 3Q累計	22/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	403	29	△ 374	-

当期純利益(損失)の変動要因

(百万米ドル)



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 豪TAL



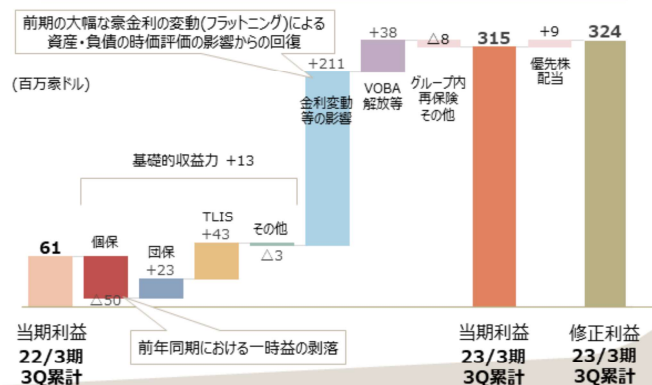
- ▶ 基礎的収益力は、個人保険において前年同期に計上されたアステロン・ライフの保険負債評価のモデル変更に伴う一時益が剥落したものの、団体保険の増益やTLIS⁽¹⁾ (旧Westpac Life)の利益貢献が寄与し、前年同期比+6%増加の261百万豪ドル
- ▶ 当期純利益は、基礎的収益力の増益に加え、前年同期の大幅な豪金利の変動(フラットニング)に伴う資産・負債の時価評価の悪影響から大きく回復し、315百万豪ドル

単体業績

(百万豪ドル)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	4,686	5,470	+ 783	+ 17%
基礎的収益力(税引後)	247	261	+ 13	+ 6%
個人保険	191	141	△ 50	△ 26%
団体保険	73	97	+ 23	+ 32%
TLIS(旧Westpac Life)	-	43	+ 43	-
その他(基礎的項目)	△ 17	△ 20	△ 3	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 186	54	+ 240	
金利変動等に伴う資産・保険負債の変動	△ 95	116	+ 211	
VOBAの解放・VIF償却	△ 14	23	+ 38	
優先株配当等	△ 11	△ 9	+ 1	
グループ内再保険(出再)の影響 ⁽²⁾	△ 32	△ 43	△ 10	
その他	△ 31	△ 32	△ 0	
当期純利益(損失)	61	315	+ 254	+ 417%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	50	282	+231	+ 455%
決算為替レート(対円)	83.42	89.57	+6.15	+ 7%

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	55	291	+235	+421%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 正式名称: TAL Life Insurance Services Limited

(2) グループ資本効率の観点から、豪TALよりグループ会社(DL)へ再保険(出再)を行ったことに伴う増益を記載しています

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 第一生命ベトナム



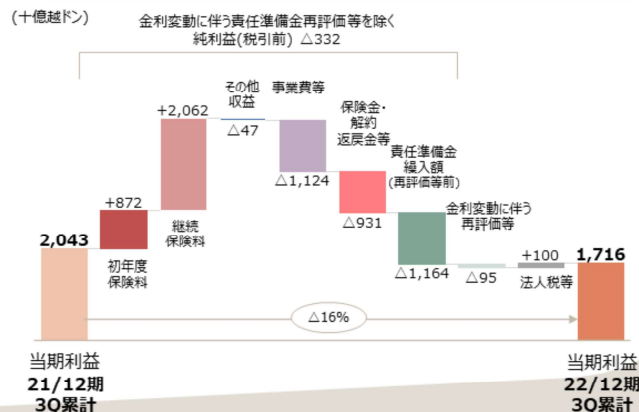
- ▶ 保険料等収入は、初年度保険料、継続保険料ともに拡大し、前年同期比+23%増加の15,694十億越ドン
- ▶ 当期純利益は、新契約拡大に伴う事業費の増加や責任準備金繰入額の増加により、前年同期比△16%減の1,716十億越ドン

単体業績

(十億越ドン)	21/12期 3Q累計	22/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	12,758	15,694	+ 2,935	+ 23%
初年度保険料	4,298	5,171	+ 872	+ 20%
継続保険料 ⁽¹⁾	8,459	10,522	+ 2,062	+ 24%
その他収益	1,086	1,039	△ 47	
資産運用収益等	1,589	1,402	△ 187	
再保険収支	△ 502	△ 362	+ 139	
事業費等	△ 6,161	△ 7,286	△ 1,124	
初年度販売手数料・経費等	△ 4,789	△ 5,864	△ 1,075	
継続手数料・事務管理費	△ 1,372	△ 1,421	△ 49	
保険金・解約返戻金等	△ 1,424	△ 2,356	△ 931	
責任準備金繰入額等	△ 3,685	△ 4,944	△ 1,259	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 3,989	△ 5,153	△ 1,164	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	304	209	△ 95	
法人税等	△ 530	△ 430	+ 100	
当期純利益(損失)	2,043	1,716	△ 326	△ 16%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	100	104	+ 4	+ 5%
決算為替レート(対円)	0.0049	0.0061	+ 0.0012	+ 24%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	1,799	1,548	△ 250	△ 14%

(億円)	21/12期 3Q累計	22/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	100	104	+4	+5%

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 契約より2年目以降の保険料収入

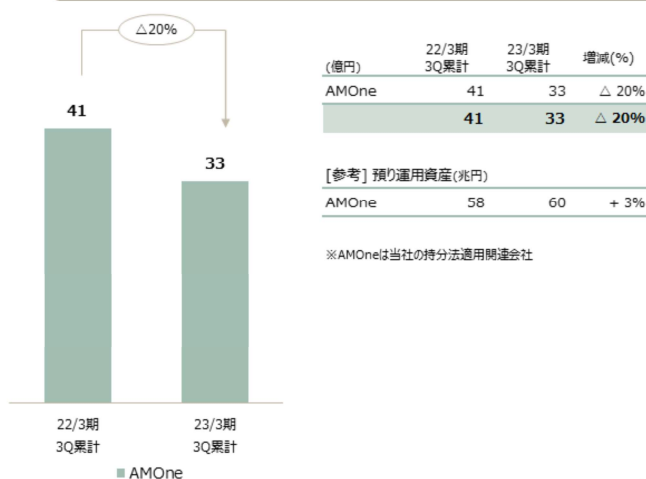
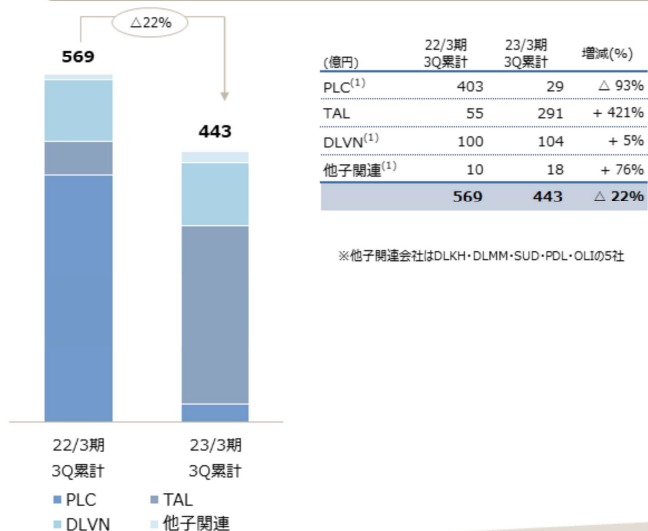
[グループ各社の業績概要]

海外保険事業・その他事業(アセットマネジメント事業)

- ▶ 海外保険事業全体の修正利益は、豪TALがTLIS(旧Westpac Life)の利益貢献や金利変動による影響の反転等により大幅増益となったほか、DLVNやその他子関連会社も増益となった一方、米PLCの金融市場変動に伴う評価損が重しとなり、前年同期比△22%減少の443億円
- ▶ アセットマネジメント事業は、金融市場変動の影響により営業収入が低下したことから、前年同期比△20%減少の33億円

海外保険事業 修正利益合計

その他事業(アセットマネジメント事業) 修正利益合計



[参考] 預り運用資産(兆円)

	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	増減(%)
AMOne	58	60	+ 3%

(1) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLIの6社です

グループEEV (European Embedded Value)

EEV - ヨーロピアン・エンベティッド・バリュー

- ▶ グループEEVは、国内金利上昇や円安によるプラス効果を、大幅な海外金利上昇や株式市場の下落によるマイナス効果等が相殺し、前期末とほぼ同水準の約7兆2,200億円

(億円)	22/3末	22/12末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	71,509	約72,200	約+700
対象事業(covers business)のEEV ⁽¹⁾	72,000	約71,800	約△200
修正純資産	60,358	約38,100	約△22,300
保有契約価値	11,642	約33,700	約+22,100
対象事業以外の純資産等に係る調整 ⁽²⁾	△491	約400	約+900

[参考] 現地通貨建

(億円)	22/3末	22/12末 (概算値)	増減	(億円)	21/12末	22/9末 (概算値)	増減	21/12末	22/9末 (概算値)	増減
DL	49,766	約47,700	約△2,000	米PLC	8,819	約9,300	約+500	7,667	約6,400	約△1,200
修正純資産	49,441	約28,000	約△21,400	修正純資産	4,285	約5,200	約+900	3,726	約3,600	約△100
保有契約価値	324	約19,700	約+19,400	保有契約価値	4,533	約4,100	約△400	3,941	約2,900	約△1,100
(億円)	22/3末	22/12末 (概算値)	増減	(億円)	22/3末	22/12末 (概算値)	増減	22/3末	22/12末 (概算値)	増減
DFL	5,855	約5,600	約△200	豪TAL	4,553	約5,600	約+1,000	4,949	約6,200	約+1,300
修正純資産	3,620	約100	約△3,500	修正純資産	2,409	約4,000	約+1,600	2,618	約4,500	約+1,800
保有契約価値	2,234	約5,600	約+3,300	保有契約価値	2,143	約1,600	約△500	2,330	約1,800	約△500

(米PLC: 百万米ドル 豪TAL: 百万豪ドル)

(1) 対象事業(covers business)とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています

第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、豪TAL、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業としました

(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(22/3末: 12,662億円、22/12末: 約14,000億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整(22/3末: △14,154億円、22/12末: 約△14,700億円)、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます



資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

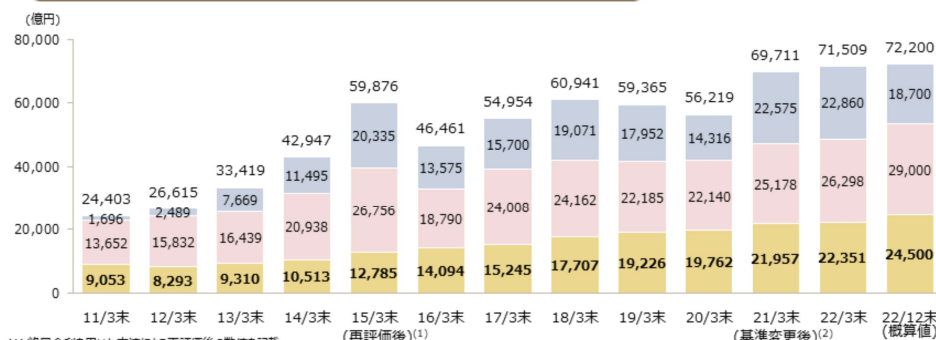
第一生命グループのEEV（億円）

	22/3末	22/12末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	71,509	約72,200	約+700
対象事業(coveted business)のEEV	72,000	約71,800	約△200
修正純資産	60,358	約38,100	約△22,300
保有契約価値	11,642	約33,700	約+22,100
対象事業以外の純資産等に係る調整	△491	約400	約+900

資産・負債の対応を考慮した再分類

	22/3末	22/12末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	71,509	約72,200	約+700
確定利付資産以外の含み損益等 ⁽³⁾	22,860	約18,700	約△4,100
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽⁴⁾	26,298	約29,000	約+2,700
純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁵⁾	22,351	約24,500	約+2,100

資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移



(1) 終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載

(2) 21/3期より基準変更(円金利の短期利率等のための終局金利等の変更、DFLの負債評価に用いる割引率への仕債スプレッドの反映)を実施

(3) DFLが保有する確定利付資産以外の資産(株式、外貨建債券(ハッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上

(4) 保有契約価値に、DLの確定利付資産ならびにDFLおよびUNFLの資産の含み損益等を加算・調整した額を計上

本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に因り、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります

(5) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上

保有契約価値+含み損益等:
保険契約の保有により生じる将来利益確定利付資産以外の含み損益等⁽³⁾保有契約価値+確定利付資産の含み損益等⁽⁴⁾純資産等+負債中の内部留保⁽⁵⁾
: 実現利益の累積額に相当

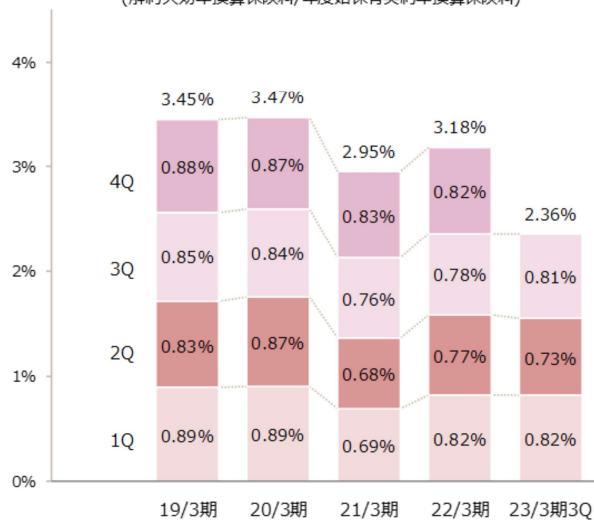
参考データ

[第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

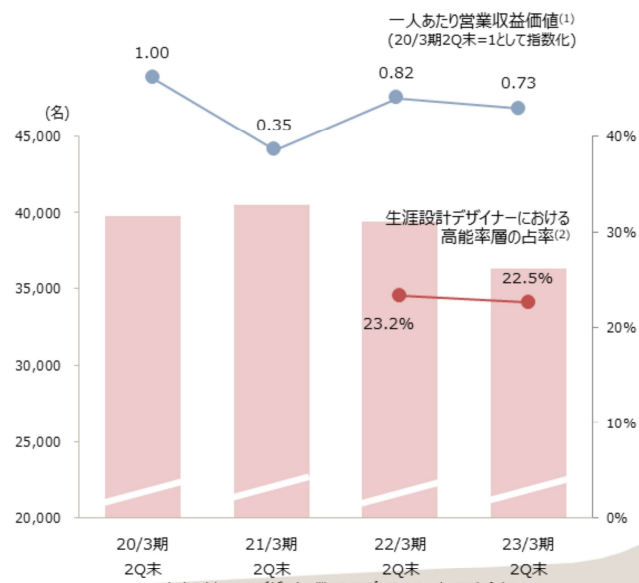
解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)

解約失効率

(解約失効年換算保険料/年度始保有契約年換算保険料)



生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率



(1) 各期の営業収益価値(営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標であり、経済環境の変動要因を除いた新契約価値に相当)を分子、入社初年度を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算
(2) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合です

[第一生命] 資産運用の状況① - 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入の内訳

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
利息・配当金等収入	6,092	5,953	△ 138	△ 2%
公社債	2,018	2,029	+ 10	+ 1%
株式	432	429	△ 3	△ 1%
外国証券	2,334	2,398	+ 64	+ 3%
その他の証券	438	210	△ 228	△ 52%
貸付金	294	304	+ 10	+ 3%
不動産	532	515	△ 16	△ 3%

[参考] 22/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽¹⁾
一般勘定計	8,311	350,809	2.37%
公社債	2,694	166,665	1.62%
株式	744	14,056	5.30%
外国証券	3,208	101,445	3.16%
その他の証券	509	8,748	5.82%
貸付金	388	25,766	1.51%
不動産 ⁽²⁾	711	7,909	9.00%

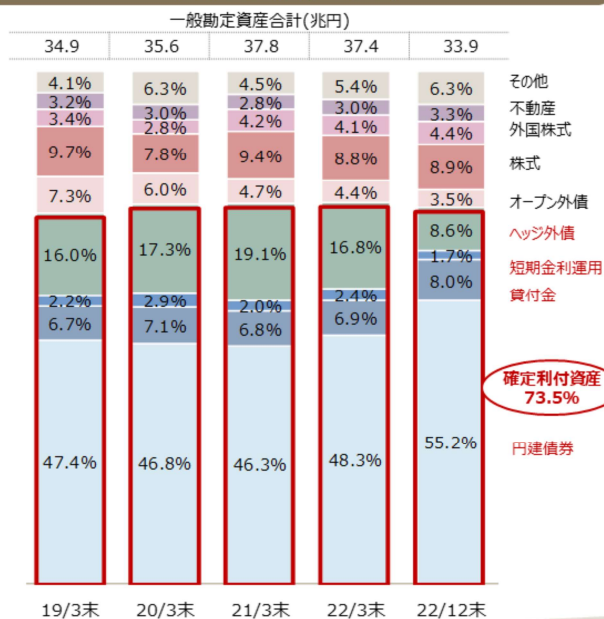
有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
有価証券売却益	2,471	3,999	+ 1,527	+ 62%
公社債	667	578	△ 88	△ 13%
株式	948	1,249	+ 301	+ 32%
外国証券	826	2,117	+ 1,291	+ 156%
その他の証券	29	52	+ 23	+ 82%
有価証券売却損	1,147	2,960	+ 1,813	+ 158%
公社債	45	177	+ 132	+ 290%
株式	69	37	△ 32	△ 46%
外国証券	850	2,646	+ 1,795	+ 211%
その他の証券	181	99	△ 82	△ 45%
有価証券売却損益	1,323	1,038	△ 285	△ 22%
有価証券評価損	58	52	△ 5	△ 10%
公社債	-	-	-	-
株式	28	33	+ 4	+ 16%
外国証券	11	19	+ 7	+ 64%
その他の証券	17	0	△ 17	△ 99%

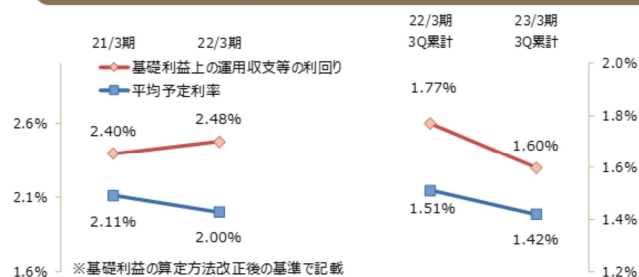
(1) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算
(2) 投資用不動産

[第一生命] 資産運用の状況② - 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

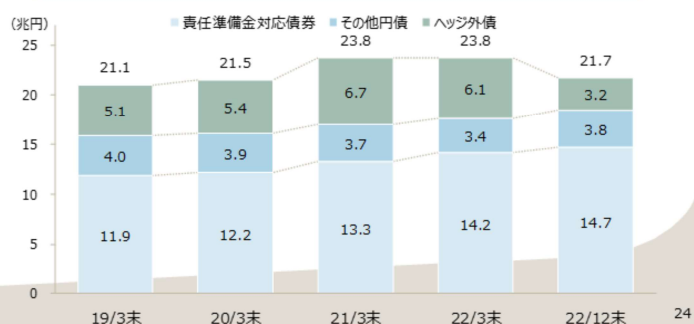
運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾



資産運用利回りと平均予定利率



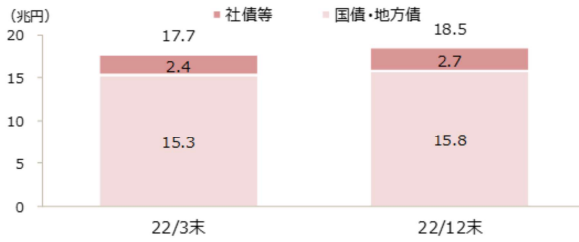
確定利付資産における債券積増し状況⁽²⁾



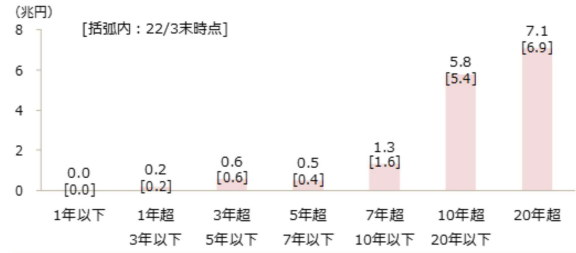
(1) 貸借対照表価額ベース (2) 簿価ベース

[第一生命] 資産運用の状況③ - 円建・外貨建債券の状況

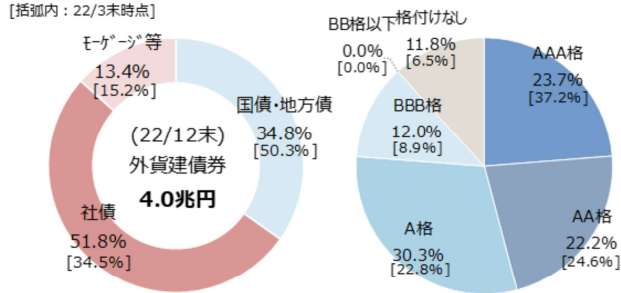
円建債券の内訳⁽¹⁾



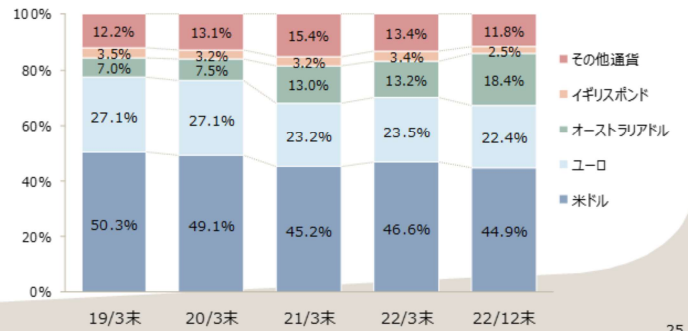
国債の残存期間別残高⁽²⁾ (22/12末)



外貨建債券の内訳⁽²⁾⁽³⁾ (22/12末)



外貨建債券の通貨別構成⁽²⁾



(1) 簿価ベース
(2) 買値対照表価額ベース
(3) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用。モーゲージ等を除く

[第一生命] 健全性指標 - 含み損益とソルベンシー・マージン比率

含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	22/3末	22/12末	前期末比	(%)
有価証券	44,392	16,040	△ 28,352	△ 64%
国内債券	18,042	666	△ 17,375	△ 96%
外国債券	3,787	△ 3,190	△ 6,978	△ 184%
うち為替ヘッジ付外貨建債券	1,397	△ 3,034	△ 4,431	△ 317%
国内株式	19,619	17,380	△ 2,239	△ 11%
外国株式	2,568	1,180	△ 1,387	△ 54%
不動産	4,876	5,073	+ 197	+ 4%
一般勘定資産合計	49,133	20,496	△ 28,636	△ 58%

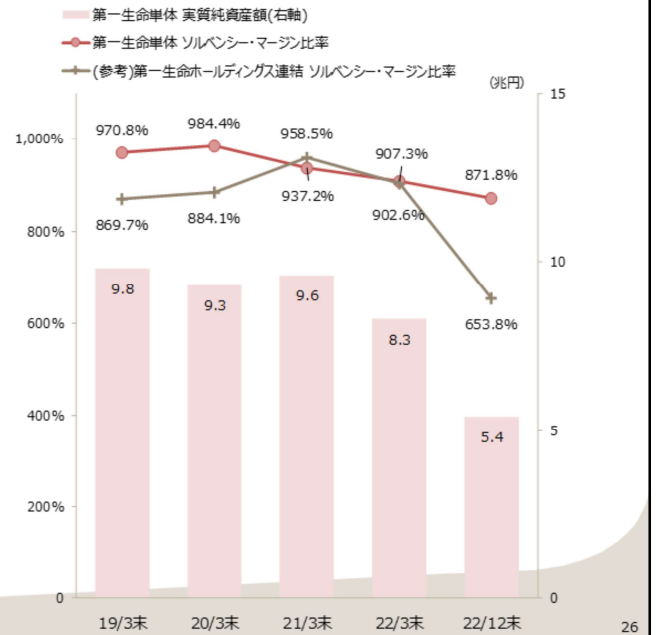
含み損益の市場感応度⁽¹⁾

国内債券	10年国債利回り10bpの変動で 2,700億円の増減※ (2022年3月末: 2,900億円) ※其他有価証券区分: 200億円の増減 (2022年3月末: 200億円)	10年国債利回り 0.4% ※ (2022年3月末: 0.8%) ※其他有価証券区分: 1.2% (2022年3月末: 1.5%)
国内株式	日経平均株価1,000円の変動で 1,100億円の増減 (2022年3月末: 1,100億円)	日経平均株価 ¥10,800 (2022年3月末: ¥11,000)
外国証券	ドル/円 1 円の変動で 160億円の増減 (2022年3月末: 210億円)	ドル/円 \$1 = ¥120 (2022年3月末: ¥107)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

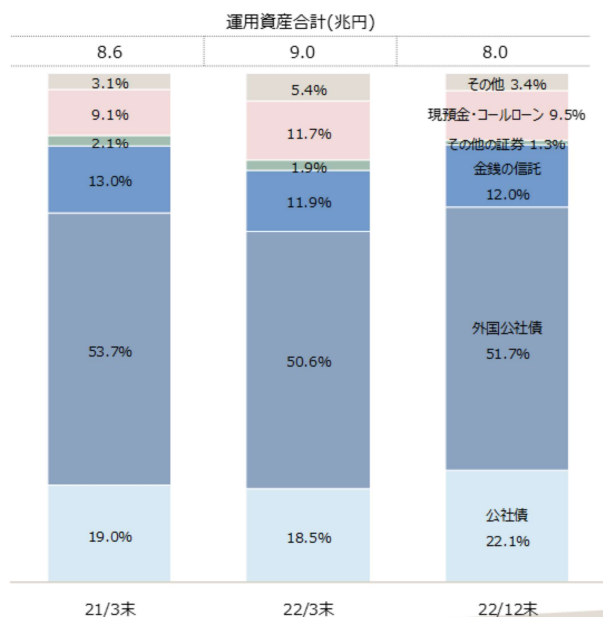
(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した。為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 - 運用資産構成

運用資産の構成(一般勘定) ⁽¹⁾



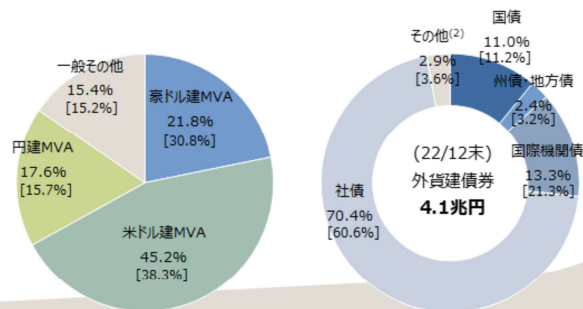
(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 国債・社債を裏付けとする仕組みを含みます

保有目的区分別有価証券の状況 (22/12末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	41,177	37,981	△ 3,195
その他の有価証券	20,440	19,386	△ 1,053
公社債	4,891	4,803	△ 88
外国証券	14,262	13,324	△ 937
その他の証券	1,053	1,033	△ 19

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

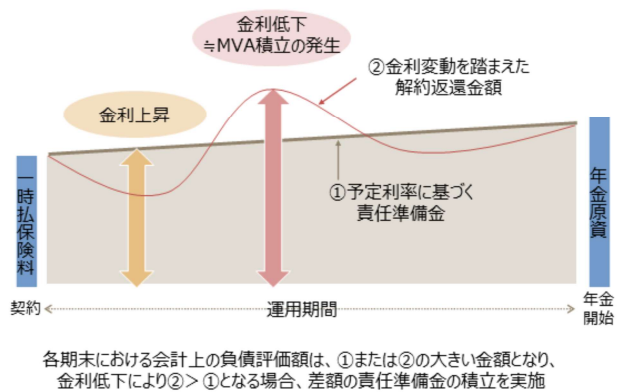
[括弧内：22/3末時点]



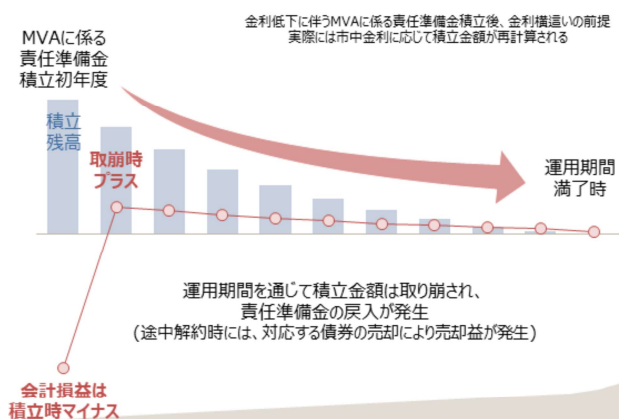
MVA(市場価格調整)関連損益について

- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含まない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



[米プロテクティブ・豪TAL] 営業の状況 – セグメント別営業業績

米プロテクティブ 営業業績

(百万米ドル)	21/12期 3Q累計	22/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
リテール保険&年金事業	2,765	2,937	+ 172	+ 6%
伝統的保険	197	155	△ 42	△ 21%
ユニバーサル保険	64	77	+ 13	+ 20%
BOLI/COLI ⁽¹⁾	641	1,469	+ 828	+ 129%
定額年金	1,112	721	△ 391	△ 35%
変額年金	751	515	△ 236	△ 31%
ステーブルバリュー事業	3,910	4,047	+ 137	+ 4%
アセットプロテクション事業	572	711	+ 139	+ 24%

豪TAL 営業業績

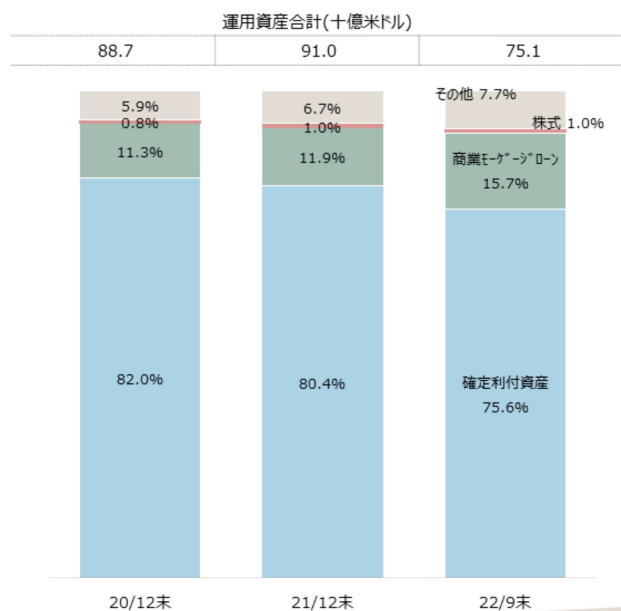
(百万豪ドル)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
新契約年換算保険料	122	81	△ 40	△ 33%
(TAL) 個人保険	67	44	△ 23	△ 35%
団体保険	55	35	△ 19	△ 35%
TLIS (旧Westpac Life)	-	1	+ 1	-
既契約増減	404	483	+ 78	+ 20%
(TAL) 個人保険	198	191	△ 6	△ 3%
団体保険	206	233	+ 26	+ 13%
TLIS (旧Westpac Life)	-	58	+ 58	-

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

(1) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険です

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 - 運用資産構成

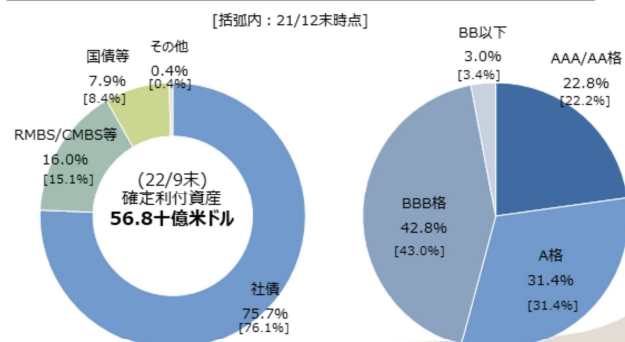
運用資産の構成(一般勘定) (1)



商業モーゲージローンの状況

(百万米ドル)	21/12末	22/9末	増減
商業モーゲージローン(引当前)	10,966	11,897	+ 931
不良債権	-	-	-
貸倒引当金	103	91	△ 12
(対ローン残高)	0.9%	0.8%	△ 0.17%pt

確定利付資産の内訳および格付構成



(1) 貸倒対照表価額ベース

グループ修正利益



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)		No.	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 3Q累計	21/3期	22/3期 3Q累計	22/3期	23/3期 3Q累計
国内生命保険事業														
第一生命	当期利益	1	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	1,286	970	1,960	1,523	1,997	1,444
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定超過分、税後)	2	249	192	129	129	-	-	216	-	△216	-	-	-
	調整 (2) 価格変動準備金繰入額 (法定超過分、税後)	3	97	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場価格調整) 関連損益 (税後)	4	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0	△0	△0	△0
	調整 (4) 持分変動益	5	-	-	-	-	-	△14	-	-	-	-	-	-
	調整額合計	6	340	189	125	127	△0	△14	216	△0	△216	△0	△0	△0
	修正利益	7	1,195	1,711	1,416	1,299	1,698	1,714	1,502	970	1,744	1,523	1,997	1,444
第一フロンティア生命	当期利益	8	△152	△219	243	502	370	199	△1,000	421	863	916	1,386	△198
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定超過額、税後)	9	-	-	-	-	-	-	△300	-	480	-	15	-
	調整 (2) 価格変動準備金繰入額 (法定超過額、税後)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場価格調整) 関連損益 (税後)	11	△9	469	75	△270	△79	7	1,935	△125	△772	△635	△815	40
	調整 (4) グループ適算制度の導入	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△395	-
	調整額合計	13	△9	469	75	△270	△79	7	1,635	△125	△292	△635	△1,196	40
	修正利益	14	△161	249	318	232	291	207	634	295	571	281	190	△157
ネオファースト生命	当期利益	15	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△117	△141	△55	△68	△74
	調整 グループ適算制度の導入	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△13	-
	修正利益	17	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△117	△141	△55	△81	△74
国内生命保険事業修正利益		18	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,974	1,148	2,174	1,749	2,106	1,211
海外保険事業														
プロテクト	修正利益	19	-	-	323	457	349	335	507	232	374	403	549	29
TAL	修正利益	20	86	121	103	127	105	98	110	101	152	55	123	291
第一生命ベトナム	修正利益	21	10	13	5	5	△20	2	60	45	59	100	141	104
海外保険事業修正利益		22	108	157	457	615	468	469	703	386	602	569	830	443
Dai-ichi Re	修正利益	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	△90
その他事業(アセットマネジメント事業)		24	44	61	59	58	53	104	120	54	99	41	52	33
持株会社・中間持株会社	修正利益	25	-	-	-	0	3	△35	△44	△29	△40	△12	△20	△24
連結調整	調整 (1) 受取配当相殺	26	27	36	135	44	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (2) TAL優先株配当	27	-	-	-	-	-	10	8	5	7	5	7	8
	調整 (3) のれん償却額	28	51	86	63	56	70	82	564	41	57	49	69	64
	調整 (4) 持分変動益 (第一生命)	29	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
	調整 (5) 持分変動益 (持株会社)	30	-	-	-	△124	△335	-	-	-	△349	-	-	-
	調整 (6) 米国法人税減税	31	-	-	-	-	△901	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (7) その他	32	△1	△22	△3	0	39	23	5	△13	△8	0	7	15
グループ修正利益 (項番33=18+22+23+24+25-26-27)		33	1,160	2,147	2,046	2,101	2,432	2,363	2,745	1,554	2,828	2,343	2,961	1,564
連結当期純利益 (項番34=33-6-13-16-28-29-30-31-32)		34	779	1,424	1,785	2,312	3,639	2,250	324	1,652	3,637	2,929	4,093	1,444

[再掲] 基礎利益の算定方法改正の反映について

- ▶ 22/3期において、経済的な実態の反映および保険会社間の取扱いに一貫性を持たせる観点から、基礎利益の算定方法の改正が予定されている
当社グループの通期業績予想の基礎利益は本改正を反映しており、1Qより改正後基準により基礎利益の開示等を行う
- ▶ 前期実績に本改正を反映した場合、基礎利益(順ざや)が△887億円減少するが、経常利益・当期損益、当社グループの実質的な収益力を示す修正利益に変動はない

基礎利益の改正に伴う変動額

[改正前]		改正に伴う変動額(DL単体22/3期実績)		[改正後]	
(億円)	22/3期			22/3期	差異
基礎利益	4,964	[順ざやから除外 → キャピタル損益へ計上]		4,076	△ 887
うち順ざや	2,195	①投資信託の解約損益 460 +626		1,307	△ 887
うち保険関係損益	2,768	②有価証券償還損益のうち為替変動部分 166		2,768	-
キャピタル損益	685	[為替差損益から除外 → 順ざやへ含める]		1,573	+ 887
うち為替差損益	△ 104	④為替に係るヘッジコスト △260		156	+ 260
臨時損益	△ 1,860			△ 1,860	
経常利益	3,789			3,789	
当期純利益	1,997	※経常利益・当期純利益・修正利益は、		1,997	
修正利益	1,997	変動しない		1,997	

③再保険に関する損益の改正は、当社グループは既に改正後の基準を採用しているため、改正の影響はない

改正項目	改正の方向性
① 投資信託の解約損益	基礎利益の算定から除外
② 有価証券償還損益のうち為替変動部分	
③ 再保険に関する損益	既契約の出再に伴う損益 基礎利益以外の損益と対応する再保険に関する損益
④ 為替に係るヘッジコスト	基礎利益の算定に含める

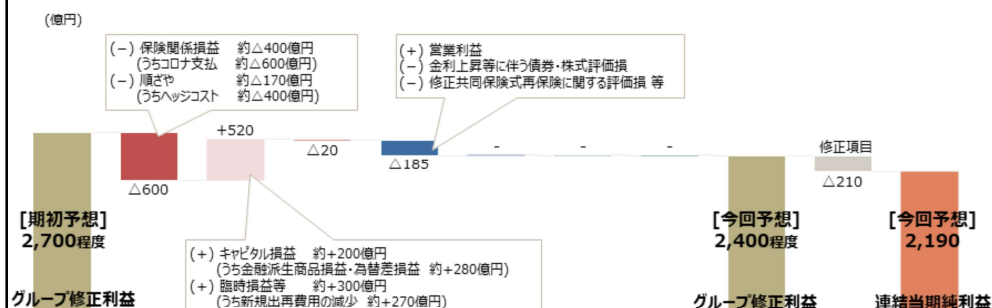
国内生保各社の変動額

(億円)		[改正前]	[改正後]	差異
22/3期	DL	4,964	4,076	△887
国内生保	DFL	439	439	△0
各社	NFL	△79	△79	-

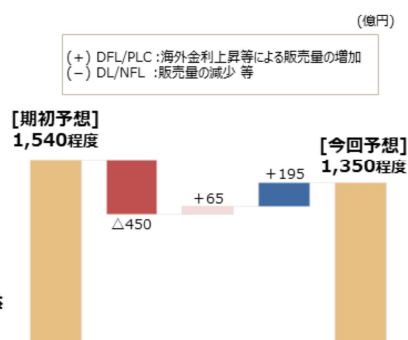
[再掲] 2023年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想 – 変動要因(期初予想対比)

- ▶ グループ修正利益予想は、国内における7月以降の新型コロナ感染拡大、国内外の金融市場動向等を踏まえ、DLにおける入院給付金等の支払い増加やヘッジコスト上昇、米PLCにおける営業外損益(評価性)の悪化継続等を織り込み、2,400億円程度を見込む
連結純利益予想は、DFLにおいてMVA関連損益に含まれる金利変動損益(時価評価資産(債券)の評価損益)の悪化に伴い、2,190億円を見込む
- ▶ グループ新契約価値は、DFL・PLCで増加見通しも、DL商品の販売伸び悩みを主因に、1,350億円程度を見込む

グループ修正利益予想・期初予想比変動要因



グループ新契約価値予想・期初予想比変動要因



	DL ⁽¹⁾⁽²⁾ 基礎利益	DL ⁽¹⁾⁽²⁾ キャピタル・ 臨時損益等	DFL/NFL	米PLC	豪TAL	その他 海外生保	アセリマナジ・メント その他	修正項目	グループ修正利益	連結当期純利益
今回予想	2,400 程度	△610	115	155	175	160	15	△210	2,400 程度	2,190
期初予想 (5月)	3,000 程度	△1,130	135	340	175	160	15	+150	2,700 程度	2,850

(グループ修正利益からの増減金額)

今回予想	410	350	585	1,350 程度
期初予想 (5月)	860	285	390	1,540 程度

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています
(2) 期初予想・今回予想ともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

[再掲] 修正ROE定義および過去実績

修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

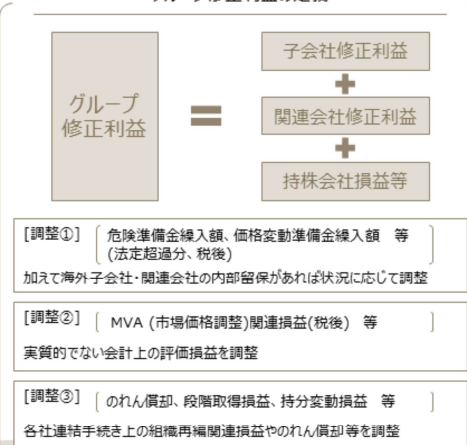
* 第一生命・ネオファースト生命: 確定利付資産含み損益⁽¹⁾のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)
第一フロンティア生命・プロテクト: その他有価証券評価差額金

修正ROE過去実績

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
(億円 / %)					
グループ修正ROE	8.5%	7.6%	9.5%	8.9%	8.0%
分子 (修正利益)	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961
分母 (年度始・年度末平均)	28,565	30,958	28,753	31,723	37,146
分母 (年度末)	31,008	30,907	26,599	36,847	37,444
[分母算出]					
純資産	37,479	37,124	37,758	48,062	44,078
(-) のれん	514	489	394	426	562
(-) 確定利付資産含み損益	6,035	5,956	12,588	12,005	6,287
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	79	228	1,824	1,218	216
修正ROE用純資産	31,008	30,907	26,599	36,847	37,444
うち株主資本	15,896	17,088	16,415	18,936	19,963
第一生命 修正ROE	8.0%	7.6%	7.9%	8.4%	8.2%
分子 (修正利益)	1,698	1,714	1,502	1,744	1,997
分母 (年度始・年度末平均)	21,274	22,436	19,138	20,771	24,505
分母 (年度末)	23,096	21,777	16,500	25,043	23,967
[分母算出]					
純資産	28,882	28,852	25,499	31,902	27,569
(-) 確定利付資産含み損益	5,786	7,075	8,998	6,858	3,602
修正ROE用純資産	23,096	21,777	16,500	25,043	23,967
うち株主資本	6,960	6,841	6,301	6,791	6,315

(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益を定義としています

グループ修正利益の定義



株主還元方針

株主還元方針

機動的・柔軟な
追加還元の検討
(21/3期より)

- ・ 総還元性向の目安
中期平均 50%

〔自己株式消却方針〕
用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、
用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、
適切な時期に自己株式の消却を行います

〔総還元性向の
推移イメージ〕

追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断

〔配当性向の推移イメージ〕

利益に応じた
安定配当
(22/3期より)

〔配当性向〕 毎期 **30%以上**

- ・ グループ修正利益過去3年平均をベース
- ・ 1株あたり配当の減配は原則行わない

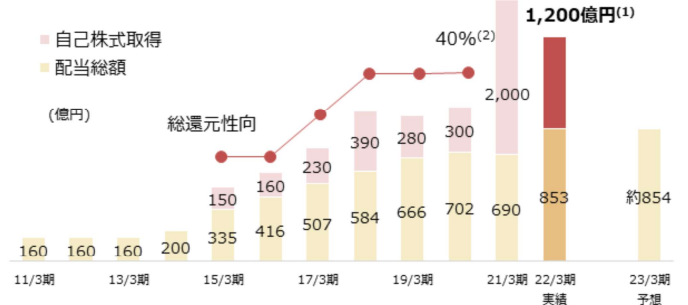
追加還元検討における考慮要素

資本充足率(ESR)水準
市場関連リスク・感応度削減の状況

持株会社キャッシュの状況
グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無
当社株価等

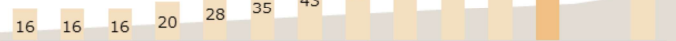
株主還元の推移



グループ修正利益	2,101	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961	2,400
過去3年平均	2,729						

(円/株)

1株あたり配当金⁽³⁾



(1) 2022年5月12日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額 (2) DLにおける金融派生商品の一時的な上振れ要因等を控除した実質的なグループ修正利益水準を基に算出 (3) 13/3期以前については株式分割後の換算値

第一生命グループ - 連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	増減
経常収益	56,737	78,442	+ 21,705
保険料等収入	37,444	50,310	+ 12,866
資産運用収益	16,749	18,528	+ 1,778
利息・配当金等収入	10,109	10,980	+ 871
有価証券売却益	2,827	4,187	+ 1,359
金融派生商品収益	-	919	+ 919
為替差益	917	2,254	+ 1,337
特別勘定資産運用益	1,092	-	△ 1,092
その他経常収益	2,542	9,603	+ 7,060
経常費用	52,062	75,448	+ 23,385
保険金等支払金	41,704	50,568	+ 8,863
責任準備金等繰入額	243	809	+ 565
資産運用費用	2,389	11,957	+ 9,567
有価証券売却損	1,166	3,723	+ 2,556
有価証券評価損	52	52	△ 0
金融派生商品費用	454	-	△ 454
為替差損	-	-	-
特別勘定資産運用損	-	1,280	+ 1,280
事業費	5,402	6,103	+ 700
経常利益 (△は損失)	4,674	2,993	△ 1,680
特別利益	1	37	+ 35
特別損失	249	323	+ 74
契約者配当準備金繰入額	608	661	+ 52
税金等調整前四半期純利益 (△は損失)	3,817	2,045	△ 1,772
法人税等合計	888	601	△ 287
非支配株主に帰属する四半期純利益 (△は損失)	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益 (△は損失)	2,929	1,444	△ 1,484

連結貸借対照表

(億円)	22/3末	22/12末	増減
資産の部合計	658,811	634,443	△ 24,367
現金・コール	26,637	22,381	△ 4,256
買入金銭債権	2,559	2,493	△ 65
有価証券	515,047	480,376	△ 34,671
貸付金	39,785	45,288	+ 5,502
有形固定資産	11,597	11,818	+ 220
繰延税金資産	93	4,328	+ 4,234
負債の部合計	614,726	609,115	△ 5,610
保険契約準備金	527,459	549,884	+ 22,424
責任準備金	514,076	535,611	+ 21,534
社債	8,703	9,637	+ 933
その他負債	59,067	35,148	△ 23,919
退職給付に係る負債	3,925	3,888	△ 36
価格変動準備金	2,873	3,041	+ 167
繰延税金負債	2,563	411	△ 2,152
純資産の部合計	44,085	25,328	△ 18,756
株主資本合計	19,963	20,164	+ 201
その他の包括利益累計額合計	24,115	5,159	△ 18,956
その他有価証券評価差額金	23,979	2,862	△ 21,117
土地再評価差額金	166	300	+ 134

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一生命 - 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	増減
経常収益	31,695	30,748	△ 946
保険料等収入	16,652	17,236	+ 583
資産運用収益	9,583	10,501	+ 918
利息・配当金等収入	6,092	5,953	△ 138
有価証券売却益	2,471	3,999	+ 1,527
金融派生商品収益	-	381	+ 381
特別勘定資産運用益	850	-	△ 850
その他経常収益	5,459	3,011	△ 2,448
経常費用	28,767	27,828	△ 939
保険金等支払金	21,444	17,808	△ 3,635
責任準備金等繰入額	199	244	+ 44
資産運用費用	2,335	5,075	+ 2,739
有価証券売却損	1,147	2,960	+ 1,813
有価証券評価損	58	52	△ 5
金融派生商品費用	352	-	△ 352
為替差損	202	588	+ 386
特別勘定資産運用損	-	805	+ 805
事業費	2,985	2,882	△ 102
その他経常費用	1,802	1,816	+ 13
減価償却費	297	308	+ 11
経常利益 (△は損失)	2,927	2,920	△ 7
特別利益	1	37	+ 35
特別損失	202	283	+ 81
契約者配当準備金繰入額	608	661	+ 52
税引前四半期純利益 (△は損失)	2,118	2,012	△ 105
法人税等合計	594	568	△ 25
四半期純利益 (△は損失)	1,523	1,444	△ 79

貸借対照表

(億円)	22/3末	22/12末	増減
資産の部合計	386,815	350,897	△ 35,918
現金・預金	9,218	5,963	△ 3,255
買入金銭債権	2,398	2,268	△ 130
有価証券	327,408	289,840	△ 37,567
貸付金	25,691	27,266	+ 1,574
有形固定資産	11,281	11,447	+ 166
繰延税金資産	-	2,206	+ 2,206
負債の部合計	359,245	333,056	△ 26,189
保険契約準備金	301,317	299,618	△ 1,698
責任準備金	295,338	293,440	△ 1,898
危険準備金	5,998	5,998	-
社債	3,687	3,687	-
その他負債	43,713	21,889	△ 21,823
退職給付引当金	3,983	4,017	+ 33
価格変動準備金	2,504	2,632	+ 127
繰延税金負債	1,154	-	△ 1,154
純資産の部合計	27,569	17,840	△ 9,729
株主資本合計	6,315	5,627	△ 687
評価・換算差額等合計	21,254	12,213	△ 9,041
その他有価証券評価差額金	21,304	12,456	△ 8,848
土地再評価差額金	166	300	+ 134

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	増減
経常収益	13,872	31,270	+ 17,397
保険料等収入	10,110	19,663	+ 9,552
資産運用収益	2,948	4,336	+ 1,388
最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	6	+ 6
為替差益	1,120	2,833	+ 1,713
経常費用	12,754	31,496	+ 18,742
保険金等支払金	12,118	28,744	+ 16,625
責任準備金等繰入額	9	31	+ 22
最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	19	61	+ 42
危険準備金繰入額	4	58	+ 54
資産運用費用	171	1,958	+ 1,787
最低保証リスクに対するヘッジ損失	19	-	△ 19
為替差損	-	-	-
事業費	378	638	+ 260
経常利益 (△は損失)	1,118	△ 226	△ 1,344
特別利益	-	-	-
特別損失	43	40	△ 3
法人税等合計	157	△ 67	△ 225
四半期純利益 (△は損失)	916	△ 198	△ 1,115
【参考】			
四半期純利益 (△は損失)	916	△ 198	△ 1,115
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益 ⁽¹⁾	283	△ 145	△ 429
その他キャピタル・その他臨時損益	172	28	△ 144
MVA(市場価格調整)関連損益 ⁽²⁾	665	△ 50	△ 715
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△ 205	△ 30	+ 174

貸借対照表

(億円)	22/3末	22/12末	増減
資産の部合計	99,370	87,577	△ 11,793
現金・コール	10,521	7,660	△ 2,861
有価証券	73,114	67,501	△ 5,612
負債の部合計	96,710	86,209	△ 10,501
保険契約準備金	85,237	78,005	△ 7,232
責任準備金	84,991	77,727	△ 7,263
(MVA残高)	300	51	△ 248
危険準備金	1,141	1,200	+ 58
純資産の部合計	2,660	1,368	△ 1,292
株主資本合計	2,750	2,152	△ 598
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	900	302	△ 598
その他有価証券評価差額金	△ 90	△ 784	△ 693

- (1) 最低保証リスクに関連した損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変動商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等を含む(22/3期3Q: △4億円、23/3期3Q: △15億円)
(2) MVA(市場価格調整)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分は除く

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテktiv - 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万米ドル)	21/12期 3Q累計	22/12期 3Q累計	増減
経常収益	9,715	12,062	+ 2,347
保険料等収入	4,728	4,684	△ 43
資産運用収益	3,811	3,078	△ 733
その他経常収益	1,175	4,300	+ 3,124
経常費用	9,271	12,037	+ 2,765
保険金等支払金	4,645	4,756	+ 110
責任準備金等繰入額	3,448	-	△ 3,448
資産運用費用	81	3,709	+ 3,627
事業費	833	883	+ 50
その他経常費用	262	2,687	+ 2,425
経常利益 (△は損失)	443	25	△ 418
特別利益	-	-	-
特別損失	3	0	△ 2
法人税等合計	80	5	△ 75
四半期純利益 (△は損失)	360	20	△ 340

貸借対照表

(百万米ドル)	21/12末	22/9末	増減
資産の部合計	131,895	112,170	△ 19,725
現金	726	580	△ 146
有価証券	90,603	71,832	△ 18,770
貸付金	12,499	13,385	+ 885
有形固定資産	227	222	△ 5
無形固定資産	3,121	4,107	+ 986
のれん	752	986	+ 233
その他の無形固定資産	2,338	3,093	+ 754
再保険貸	15,380	11,447	△ 3,932
負債の部合計	121,569	110,532	△ 11,036
保険契約準備金	110,561	102,584	△ 7,976
再保険借	508	591	+ 82
社債	1,666	1,919	+ 253
その他負債	7,220	5,373	△ 1,847
純資産の部合計	10,326	1,637	△ 8,688
株主資本合計	7,944	7,726	△ 218
その他の包括利益累計額合計	2,381	△ 6,088	△ 8,470

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

豪TAL – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万豪ドル)	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	増減
経常収益	4,875	6,233	+ 1,358
保険料等収入	4,686	5,470	+ 783
資産運用収益	124	7	△ 117
その他経常収益	64	756	+ 691
経常費用	4,785	5,811	+ 1,026
保険金等支払金	3,695	3,941	+ 246
責任準備金等繰入額	199	771	+ 571
資産運用費用	30	156	+ 125
事業費	710	779	+ 68
その他経常費用	149	162	+ 13
経常利益 (△は損失)	89	422	+ 332
特別損益	-	-	-
法人税等合計	28	106	+ 77
四半期純利益 (△は損失)	61	315	+ 254
基礎的収益力	247	261	+ 13

貸借対照表

(百万豪ドル)	22/3末	22/12末	増減
資産の部合計	14,041	17,504	+ 3,463
現金	904	982	+ 78
有価証券	7,077	9,034	+ 1,956
有形固定資産	30	20	△ 9
無形固定資産	1,039	1,018	△ 20
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	252	232	△ 20
再保険貸	183	334	+ 150
その他資産	4,706	5,530	+ 823
繰延税金資産	99	584	+ 484
負債の部合計	10,708	13,141	+ 2,432
保険契約準備金	8,320	10,476	+ 2,155
再保険借	1,029	1,062	+ 33
社債	-	-	-
その他負債	1,358	1,602	+ 243
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	3,333	4,363	+ 1,030
株主資本合計	3,333	4,363	+ 1,030
資本金	2,130	3,055	+ 925
利益剰余金	1,202	1,307	+ 105

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

第一生命ベトナム – 財務諸表(要約)⁽¹⁾

損益計算書

(十億越ドン)	21/12期 3Q累計	22/12期 3Q累計	増減
経常収益	15,032	17,766	+ 2,733
保険料等収入	13,439	16,101	+ 2,662
資産運用収益	1,580	1,662	+ 82
その他経常収益	12	2	△ 10
経常費用	12,460	15,623	+ 3,162
保険金等支払金	2,588	2,921	+ 333
責任準備金等繰入額	3,685	5,123	+ 1,438
資産運用費用	0	266	+ 266
事業費	6,117	7,234	+ 1,116
その他経常費用	68	76	+ 7
経常利益 (△は損失)	2,572	2,143	△ 428
特別利益	2	3	+ 0
特別損失	0	0	△ 0
法人税等合計	530	430	△ 100
四半期純利益 (△は損失)	2,043	1,716	△ 326

貸借対照表

(十億越ドン)	21/12末	22/9末	増減
資産の部合計	46,392	53,174	+ 6,782
現金	9,106	10,113	+ 1,007
有価証券	29,860	34,328	+ 4,467
貸付金	977	1,127	+ 149
有形固定資産	114	96	△ 17
無形固定資産	42	43	+ 0
再保険貸	-	-	-
負債の部合計	32,844	37,910	+ 5,065
保険契約準備金	30,170	35,294	+ 5,123
再保険借	232	50	△ 182
その他負債	2,437	2,562	+ 124
純資産の部合計	13,547	15,263	+ 1,716
株主資本合計	13,547	15,263	+ 1,716

(1) ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)



(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米フロテグティブ			家TAL			第一生命ヘトナム			連結		
	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	増減	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	増減	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	増減	21/12期 3Q累計	22/12期 3Q累計	増減	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	増減	21/12期 3Q累計	22/12期 3Q累計	増減	22/3期 3Q累計	23/3期 3Q累計	増減
経常収益	31,695	30,748	△ 946	13,872	31,270	+ 17,397	1,345	1,672	+ 326	10,873	17,468	+ 6,594	4,066	5,583	+ 1,516	736	1,083	+ 347	56,737	78,442	+ 21,705
保険料等収入	16,652	17,236	+ 583	10,110	19,663	+ 9,552	1,342	1,668	+ 326	5,291	6,783	+ 1,491	3,909	4,899	+ 990	658	982	+ 323	37,444	50,310	+ 12,866
資産運用収益	9,583	10,501	+ 918	2,948	4,336	+ 1,388	3	3	+ 0	4,265	4,457	+ 191	103	6	△ 97	77	101	+ 23	16,749	18,528	+ 1,778
利息・配当金等収入	6,092	5,953	△ 138	1,252	1,323	+ 70	2	3	+ 0	2,670	3,591	+ 920	△ 0	6	+ 7	72	101	+ 28	10,109	10,980	+ 871
荷役証券売却益	2,471	3,999	+ 1,527	301	175	△ 129	0	-	△ 0	51	14	△ 36	-	-	-	-	-	-	2,827	4,187	+ 1,359
金融派生商品収益	-	381	+ 381	-	-	-	-	-	-	47	837	+ 789	-	-	-	-	-	-	-	919	+ 919
為替差益	-	-	-	1,120	2,833	+ 1,713	-	-	-	-	-	-	0	-	△ 0	-	0	+ 0	917	2,254	+ 1,337
特別勘定資産運用益	850	-	△ 850	242	-	△ 242	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,092	-	△ 1,092
その他経常収益	5,459	3,011	△ 2,448	814	7,270	+ 6,456	0	0	+ 0	1,315	6,227	+ 4,911	53	677	+ 623	0	0	△ 0	2,542	9,603	+ 7,060
経常費用	28,767	27,828	△ 939	12,754	31,496	+ 18,742	1,400	1,772	+ 371	10,376	17,430	+ 7,054	3,991	5,205	+ 1,213	610	953	+ 342	52,062	75,448	+ 23,385
保険金等支払金	21,444	17,808	△ 3,635	12,118	28,744	+ 16,625	670	1,441	+ 771	5,199	6,887	+ 1,688	3,082	3,530	+ 448	126	178	+ 51	41,704	50,568	+ 8,863
責任準備金等繰入額	199	244	+ 44	9	31	+ 22	470	62	△ 407	3,860	-	△ 3,860	166	690	+ 524	180	312	+ 131	243	809	+ 565
資産運用費用	2,335	5,075	+ 2,739	171	1,958	+ 1,787	0	0	+ 0	91	5,371	+ 5,280	25	139	+ 114	0	16	+ 16	2,389	11,957	+ 9,567
荷役証券評価損	1,147	2,960	+ 1,813	17	1,036	+ 1,018	-	-	-	1	11	+ 9	-	-	-	-	-	-	1,166	3,723	+ 2,556
荷役証券評価損	58	52	△ 5	-	-	-	-	-	-	△ 5	△ 0	+ 5	-	-	-	-	-	-	52	52	△ 0
金融派生商品費用	352	-	△ 352	148	298	+ 149	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	454	-	△ 454
為替差損	202	588	+ 386	-	-	-	-	-	-	0	0	+ 0	-	0	+ 0	0	-	△ 0	-	-	-
特別勘定資産運用損	-	805	+ 805	-	475	+ 475	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,280	+ 1,280
事業費	2,985	2,882	△ 102	378	638	+ 260	248	247	△ 1	932	1,279	+ 347	592	698	+ 105	299	441	+ 141	5,402	6,103	+ 700
経常利益(△は損失)	2,927	2,920	△ 7	1,118	△ 226	△ 1,344	△ 54	△ 99	△ 45	496	37	△ 459	75	378	+ 303	126	130	+ 4	4,674	2,993	△ 1,680
特別利益	1	37	+ 35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	+ 0	1	37	+ 35
特別損失	202	283	+ 81	43	40	△ 3	0	0	△ 0	3	0	△ 2	-	-	-	0	0	△ 0	249	323	+ 74
契約者配当準備金繰入額	608	661	+ 52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	608	661	+ 52
税金等調整前当期純利益	2,118	2,012	△ 105	1,074	△ 266	△ 1,340	△ 55	△ 99	△ 44	493	36	△ 456	75	378	+ 303	126	130	+ 4	3,817	2,045	△ 1,772
法人税等合計	594	568	△ 25	157	△ 67	△ 225	0	△ 25	△ 25	90	7	△ 82	24	95	+ 71	26	26	+ 0	888	601	△ 287
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益(△は損失)	1,523	1,444	△ 79	916	△ 198	△ 1,115	△ 55	△ 74	△ 19	403	29	△ 374	50	282	+ 231	100	104	+ 4	2,929	1,444	△ 1,484

主要子会社別貸借対照表(要約)

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクト			富TAL			第一生命ベトナム			連結		
	22/3末	22/12末	増減	22/3末	22/12末	増減	22/3末	22/12末	増減	21/12末	22/9末	増減	22/3末	22/12末	増減	21/12末	22/9末	増減	22/3末	22/12末	増減
資産の部合計	386,815	350,897	△ 35,918	99,370	87,577	△ 11,793	4,151	4,129	△ 21	151,706	162,434	+ 10,727	12,918	15,678	+ 2,760	2,319	3,243	+ 924	658,811	634,443	△ 24,367
税関金・コール	9,218	5,963	△ 3,255	10,521	7,660	△ 2,861	2,692	2,650	△ 41	835	840	+ 4	832	880	+ 47	455	616	+ 161	26,637	22,381	△ 4,256
買入金銭債権	2,398	2,268	△ 130	160	224	+ 64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,559	2,493	△ 65
有価証券	327,408	289,840	△ 37,567	73,114	67,501	△ 5,612	823	984	+ 161	104,211	104,020	△ 191	6,511	8,092	+ 1,580	1,493	2,094	+ 601	515,047	480,376	△ 34,671
貸付金	25,691	27,266	+ 1,574	-	-	-	17	19	+ 1	14,377	19,383	+ 5,005	12	13	+ 0	48	68	+ 19	39,785	45,288	+ 5,502
有形固定資産	11,281	11,447	+ 166	13	12	△ 1	3	2	△ 0	261	321	+ 60	28	18	△ 9	5	5	+ 0	11,597	11,818	+ 220
無形固定資産	1,285	1,289	+ 3	154	165	+ 11	63	89	+ 26	3,590	5,948	+ 2,358	956	912	△ 43	2	2	+ 0	5,027	7,764	+ 2,736
繰延税金資産	-	2,206	+ 2,206	426	687	+ 260	13	16	+ 3	-	952	+ 952	91	523	+ 431	3	4	+ 0	93	4,328	+ 4,234
負債の部合計	359,245	333,056	△ 26,189	96,710	86,209	△ 10,501	4,030	4,083	+ 52	139,829	160,062	+ 20,233	9,649	11,573	+ 1,924	1,642	2,312	+ 670	614,726	609,115	△ 5,610
保険契約準備金	301,317	299,618	△ 1,698	85,237	78,005	△ 7,232	3,961	4,023	+ 62	127,167	148,552	+ 21,385	7,655	9,383	+ 1,728	1,508	2,152	+ 644	527,459	549,884	+ 22,424
責任準備金	295,338	293,440	△ 1,898	84,991	77,727	△ 7,263	3,928	3,958	+ 30	125,902	147,138	+ 21,235	1,840	3,247	+ 1,406	1,462	2,085	+ 623	514,076	535,611	+ 21,534
社債	3,687	3,687	-	-	-	-	-	-	-	1,916	2,410	+ 493	-	-	-	-	-	-	8,703	9,268	+ 564
その他負債	43,713	21,889	△ 21,823	4,734	2,925	△ 1,809	64	55	△ 8	8,305	7,780	△ 524	1,047	1,237	+ 190	121	156	+ 34	59,067	35,148	△ 23,919
退職給付に係る負債	3,983	4,017	+ 33	-	-	-	-	-	-	94	93	△ 1	-	-	-	0	0	+ 0	3,925	3,888	△ 36
債務変動準備金	2,504	2,632	+ 127	368	408	+ 40	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,873	3,041	+ 167
繰延税金負債	1,154	-	△ 1,154	-	-	-	-	-	-	1,760	-	△ 1,760	-	-	-	-	-	-	2,563	411	△ 2,152
純資産の部合計	27,569	17,840	△ 9,729	2,660	1,368	△ 1,292	121	46	△ 74	11,877	2,371	△ 9,505	3,268	4,105	+ 836	677	931	+ 253	44,085	25,328	△ 18,756
株主資本合計	6,315	5,627	△ 687	2,750	2,152	△ 598	122	48	△ 74	9,265	9,010	△ 254	3,062	3,902	+ 840	679	783	+ 104	19,963	20,164	+ 201
その他の包括利益累計額合計	21,254	12,213	△ 9,041	△ 90	△ 784	△ 693	△ 1	△ 1	△ 0	2,612	△ 6,638	△ 9,250	206	202	△ 3	△ 1	147	+ 149	24,115	5,159	△ 18,956
その他包括利益準備金	21,304	12,456	△ 8,848	△ 90	△ 784	△ 693	△ 1	△ 1	△ 0	2,775	△ 8,784	△ 11,559	-	-	-	-	-	-	23,979	2,862	△ 21,117
土地再評価準備金	166	300	+ 134	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	166	300	+ 134

第一生命グループ－連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)	22/3末	22/12末	増減
ソルベンシー・マージン総額 (A)	83,444	57,135	△ 26,309
資本金等 ⁽¹⁾	15,613	13,970	△ 1,643
価格変動準備金	2,873	3,041	+ 167
危険準備金	7,159	7,219	+ 59
一般貸倒引当金	2	10	+ 7
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)+繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	29,463	4,465	△ 24,997
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	3,617	3,727	+ 109
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	119	183	+ 63
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	22,508	22,872	+ 363
負債性資本調達手段等	10,037	9,237	△ 800
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△5,825	△5,785	+ 40
少額短期保険業者に係るマージン控額	0	0	-
控除項目	△2,786	△2,860	△ 74
その他	659	1,053	+ 393
リスクの合計額 (B) $\sqrt{[(R_1^2 + R_2^2) + R_3 + R_4]^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	18,487	17,477	△ 1,009
保険リスク相当額 R_1	1,495	1,715	+ 220
一般保険リスク相当額 R_5	41	52	+ 10
巨大災害リスク相当額 R_6	15	20	+ 4
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	1,854	1,898	+ 43
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	0	0	-
予定利率リスク相当額 R_2	2,099	2,064	△ 34
最低保証リスク相当額 $R_7^{(2)}$	761	809	+ 47
資産運用リスク相当額 R_3	14,873	13,789	△ 1,084
経営管理リスク相当額 R_4	422	407	△ 15
ソルベンシー・マージン比率 (A) / { (1/2) × (B) }	902.6%	653.8%	△248.8%pt

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除く
(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。